

2025年3月期 第2四半期決算説明会資料

株式会社オービックビジネスコンサルタント（証券コード：4733）

2024年10月30日

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。



Index

1.	2025年3月期第2四半期決算の概要	P. 2
2.	2025年3月期第2四半期 主要な指標	P. 9
3.	2025年3月期事業計画	P. 17
4.	NEXTステージに向けた成長戦略	P. 20
5.	注目トピック	P. 28
6.	資本コストや株価を意識した経営の実現 に向けた対応	P. 36
	Appendix	P. 39



1. 2025年3月期 第2四半期決算の概況

2025年3月期 第2四半期（上期累計）決算の概況

(百万円)	24/3期 上期		25/3期 上期		対前年同期		25/3期 上期 計画		
	構成比(%)		構成比(%)		増減額	増減率(%)			
売上高	19,488	100.0	22,738	100.0	3,250	16.7	22,390	売上高	◆ 売上高 3,250百万円増（対前年16.7%増）
売上総利益	15,963	81.9	19,028	83.7	3,065	19.2	18,303	売上 総利益	◆ 売上総利益 3,065百万円増（対前年19.2%増） ◆ 売上高全体の中で相対的に利益率が高いソリューション売 上高が占める構成比率が、50.3%から58.4%へと 伸長した影響等から、売上総利益率が1.8%良化
販売管理費	7,800	40.0	8,917	39.2	1,116	14.3	8,723	営業 利益	◆ 販売管理費 1,116百万円増（対前年14.3%増） ◆ 営業利益 1,949百万円増（対前年23.9%増）
営業利益	8,163	41.9	10,112	44.5	1,949	23.9	9,580	経常 利益	◆ 受取配当金 655百万円（前期は644百万円）
営業外損益	690	3.5	681	3.0	△ 9	△1.2	450	当期 利益	◆ 投資有価証券売却益（特別利益） 229百万円 （前期は投資有価証券売却益は該当なし）
経常利益	8,853	45.4	10,793	47.5	1,940	21.9	10,030		
中間純利益	6,104	31.3	7,633	33.6	1,529	25.0	6,960		

売上高の品目別内訳

(百万円)	24/3期 上期		25/3期 上期			25/3期 上期 計画
	構成比(%)		構成比(%)	前期比(%)		
ソリューション	9,805	50.3	13,269	58.4	35.3	12,970
クラウド	8,380	43.0	12,284	54.0	46.6	
基幹業務クラウド (SaaS, IaaS)	5,067	26.0	8,037	35.3	58.6	
奉行クラウドEdge	3,313	17.0	4,248	18.7	28.2	
オンプレミス (基幹業務システム)	1,425	7.3	984	4.3	△30.9	
関連製品	1,758	9.0	1,812	8.0	3.1	1,835
サービス	7,925	40.7	7,658	33.7	△3.4	7,585
オンプレミス保守	6,351	32.6	6,257	27.5	△1.5	
その他 (インスト指導等)	1,574	8.1	1,401	6.2	△11.0	
合計	19,488	100.0	22,738	100.0	16.7	22,390

対前年同期比の主な内容

■ ソリューション

- ✓ クラウド製品売上が増加
 - DXニーズの高まりを背景とした中堅・中小企業のクラウドシフトの動きから、基幹業務クラウド、奉行クラウドEdgeともに前期来の新規受注が積上りの影響
 - 前期より、高単価製品（奉行クラウドDX suite）の売上が徐々に伸長
- ✓ オンプレミス製品売上が減少
 - 奉行10シリーズのサポート終了予定（'24.12月末）に向けたバージョンアップの受注が収束傾向

■ 関連製品

- ✓ 奉行連動ソリューションの売上が85百万円増加。
- ✓ 一方ハードウェア化傾向によりサブライ製品売上は43百万円減少

■ サービス

- ✓ オンプレミス奉行製品継続ユーザー様の奉行クラウド製品への切替等を背景として、保守契約売上が36百万円減少
- ✓ 前期は法改正特需による新規ユーザー増に伴いインストラクター指導が逼迫。当期は逼迫緩和により売上176百万円減少

基幹業務システム新規受注数量（バージョンアップ含む）

(単位：本)			24/3期		25/3期		
			1Q	2Q	1Q	2Q	QonQ(%)
クラウド	SaaS	(奉行クラウド i、奉行クラウドV ERP、 奉行クラウド DX Suite ^{※1})	3,875	6,204	3,408	4,097	20.2
	IaaS	(奉行11クラウド、OBCクラウドサービス、 奉行V ERP Smart)	218	371	229	174	△24.0
	クラウド計		4,093	6,575	3,637	4,271	17.4
オンプレミス	中堅・上場企業向け	奉行V ERP	86	141	107	75	△29.9
	中小企業向け	奉行 i Network Edition	305	748	272	256	△5.9
		奉行 i Standalone	716	1,407	544	510	△6.3
	小規模事業者向け	奉行 J	101	211	72	49	△31.9
	オンプレミス計		1,208	2,507	995	890	△10.6
クラウド、オンプレミス合計			5,301	9,082	4,632	5,161	11.4

【参考】ソリューション別平均単価

クラウド ^{※2}		オンプレミス ^{※3}	
SaaS 奉行クラウド i	21.5万円/年	奉行 i 11	31.3万円
SaaS 奉行クラウド V ERP	99.2万円/年	奉行 V ERP11	42.0万円
SaaS 奉行クラウド DX Suite	107.4万円/年		
IaaS 奉行11クラウド、OBCクラウド、奉行V ERP Smart	93.6万円/年		
SaaS 奉行クラウドEdge	15.4万円/年		

※1：奉行クラウド DX Suiteは1セットを1本としてカウントしています。

※2：クラウドサービスの平均単価は24年9月末のARR÷9月末契約数×12で算出。
継続契約における年額ベースの金額。

※3：オンプレ製品の平均単価は24年4月～24年9月の受注金額÷受注数量で算出。
製品出荷時に計上される一時収益の金額。

販売費及び一般管理費の内訳

(百万円)	24/3期 上期		25/3期 上期		
		構成比(%)		構成比(%)	前期比(%)
売上高	19,488	100.0	22,738	100.0	16.7
販売費及び一般管理費	7,800	40.0	8,917	39.2	14.3
販管人件費	2,536	13.0	2,838	12.5	11.9
研究開発費	1,751	9.0	2,034	8.9	16.2
広告宣伝費	1,086	5.6	1,126	5.0	3.6
地代家賃	373	1.9	381	1.7	2.4
減価償却費	177	0.9	144	0.6	△ 18.7
その他経費	1,878	9.6	2,393	10.5	27.4

対前期比の主な内容

■ 販管人件費、研究開発費

- ✓ 人員増('24年4月新卒採用84名)に加え、給与のハースアップ改訂・残業単価の見直し等により、人件費が増加

■ 広告宣伝費

- ✓ 奉行ケアウトのブランド浸透に向け、TVCM、ネット広告を戦略的に強化を継続

■ 減価償却費

- ✓ 自社利用の顧客管理システムが前期より稼働したこと等に伴う償却増加56百万円
- ✓ ソフトウェア償却費修正△89百万円

■ その他経費

- ✓ 過年度支払手数料計上430百万円

貸借対照表

(百万円)	24/3末	24/9末	増減額
流動資産	164,754	165,779	1,025
現金預金	151,601	155,492	3,891
受取手形	3,714	2,459	△ 1,254
売掛金	9,075	7,528	△ 1,547
棚卸資産	133	113	△ 19
その他	240	195	△ 45
貸倒引当金	△ 9	△ 9	△ 0
固定資産	33,053	34,647	1,594
有形固定資産	1,230	1,177	△ 52
無形固定資産	1,228	941	△ 288
投資その他の資産	30,595	32,529	1,934
資産合計	197,807	200,426	2,619

	24/3末	24/9末	増減額
負債	48,913	45,922	△ 2,991
買掛金	450	305	△ 144
未払金	2,323	1,485	△ 838
未払法人税等	4,012	3,252	△ 760
前受収益	33,493	31,069	△ 2,424
退職給付引当金	3,347	3,552	206
その他	5,289	6,258	969
資本	148,894	154,504	5,609
資本金	10,519	10,519	0
資本剰余金	18,438	18,450	12
利益剰余金	107,443	111,693	4,250
有価証券評価差額金	12,717	14,062	1,345
自己株式	△ 223	△ 221	2
負債・資本	197,807	200,426	2,619

キャッシュ・フロー サマリー

(百万円)	24/3期 上期	24/3期 通期	25/3期 上期	主な内訳項目												
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,409	23,260	7,592	<table border="1"> <tr> <td>税引前利益</td> <td>11,022</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td>343</td> </tr> <tr> <td>売上債権の増加額</td> <td>2,802</td> </tr> <tr> <td>前受収益減少額</td> <td>△ 2,424</td> </tr> <tr> <td>法人税等支払額</td> <td>△ 3,835</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>△ 316</td> </tr> </table>	税引前利益	11,022	減価償却費	343	売上債権の増加額	2,802	前受収益減少額	△ 2,424	法人税等支払額	△ 3,835	その他	△ 316
税引前利益	11,022															
減価償却費	343															
売上債権の増加額	2,802															
前受収益減少額	△ 2,424															
法人税等支払額	△ 3,835															
その他	△ 316															
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 766	△ 850	△ 319	<table border="1"> <tr> <td>有形固定資産の取得</td> <td>△ 247</td> </tr> <tr> <td>無形固定資産の取得</td> <td>△ 306</td> </tr> <tr> <td>投資有価証券売却収入他</td> <td>234</td> </tr> </table>	有形固定資産の取得	△ 247	無形固定資産の取得	△ 306	投資有価証券売却収入他	234						
有形固定資産の取得	△ 247															
無形固定資産の取得	△ 306															
投資有価証券売却収入他	234															
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,631	△ 5,262	△ 3,382	<table border="1"> <tr> <td>配当金支払い</td> <td>△ 3,382</td> </tr> </table>	配当金支払い	△ 3,382										
配当金支払い	△ 3,382															
現金及び現金同等物の増加額	7,012	17,147	3,891													
現金及び現金同等物期首残高	134,444	134,444	151,591													
現金及び現金同等物期末残高	141,457	151,591	155,482													



2. 2025年3月期第2四半期 主要な指標

主要な指標

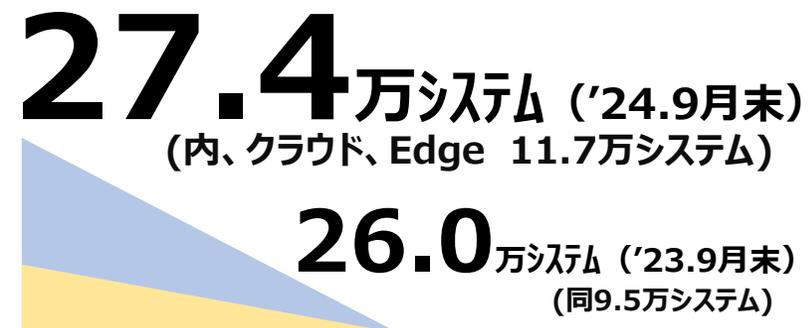
ARR※1



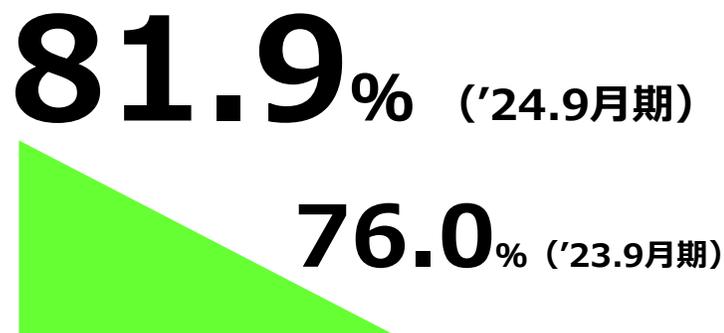
クラウドARPU※2



稼働システム数※3



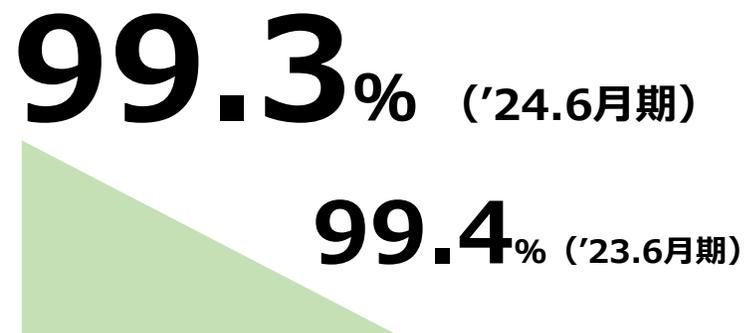
継続収益比率※4



前受収益残高



契約継続率※5



※1 : ARR (Annual Recurring Revenue) = 各四半期末月のMRRの12倍で計算。

MRR (Monthly Recurring Revenue) = 月額継続収益 (契約により一定期間にわたり計上される売上、すなわち、「ソリューション(利用料型)」及び「オンプレミス保守」の月額売上金額の合計)。

※2 : ARPU (Average Revenue Per User) = クラウド (SaaS、IaaS、牽行クラウドEdge) を利用している企業の1企業あたり月額平均単価の12倍で計算。

※3 : 稼働システム数は、単数もしくは複数のライセンスを1つの単位として納入したシステムを1単位とした数。

※4 : 継続収益 (「ソリューション(利用料型)」及び「オンプレミス保守」の月額売上高の合計) を全社売上高で除して算出。

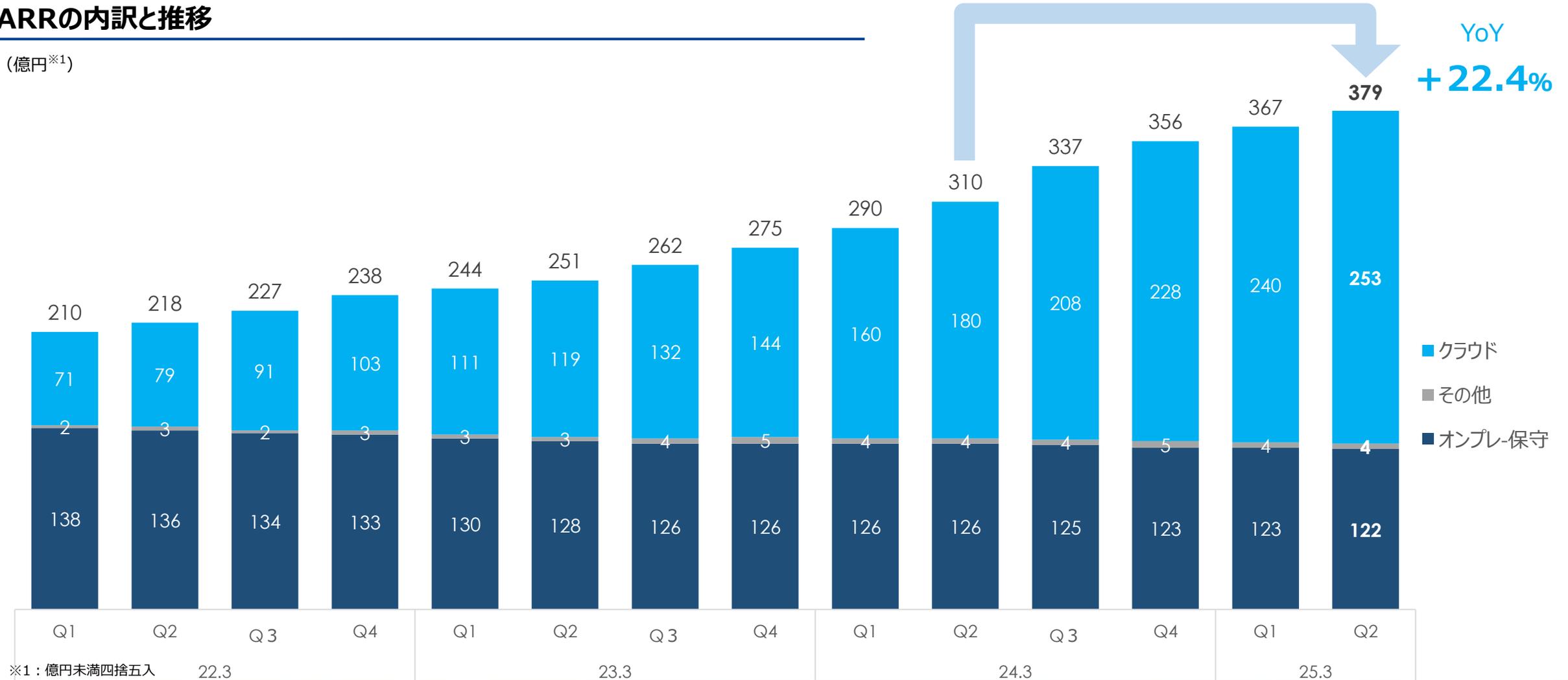
※5 : 継続収益型サービス (「ソリューション(利用料型)」及び「オンプレミス保守」) を対象に、月次解約率 (= 当月解約により減少するMRR ÷ 前月のMRR) の年間平均より契約継続率を算出。

ARRの推移

クラウドユーザー伸長により、前期比22.4%の増加

ARRの内訳と推移

(億円※1)



クラウド収益の推移

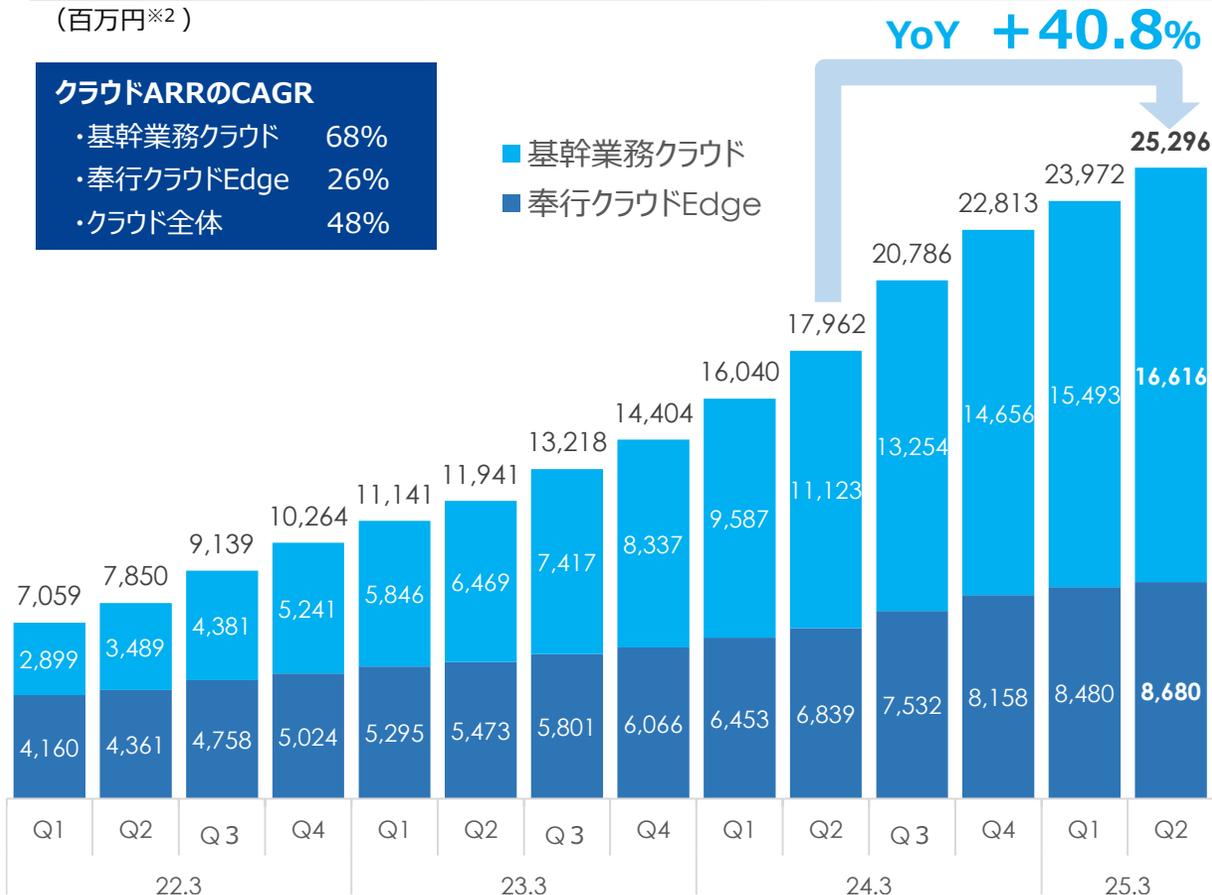
クラウドARR、売上高どちらも増加。SaaSの伸びが牽引。

クラウドARRの推移と年間平均伸び率（CAGR）※1

(百万円※2)

クラウドARRのCAGR

- ・基幹業務クラウド 68%
- ・奉行クラウドEdge 26%
- ・クラウド全体 48%

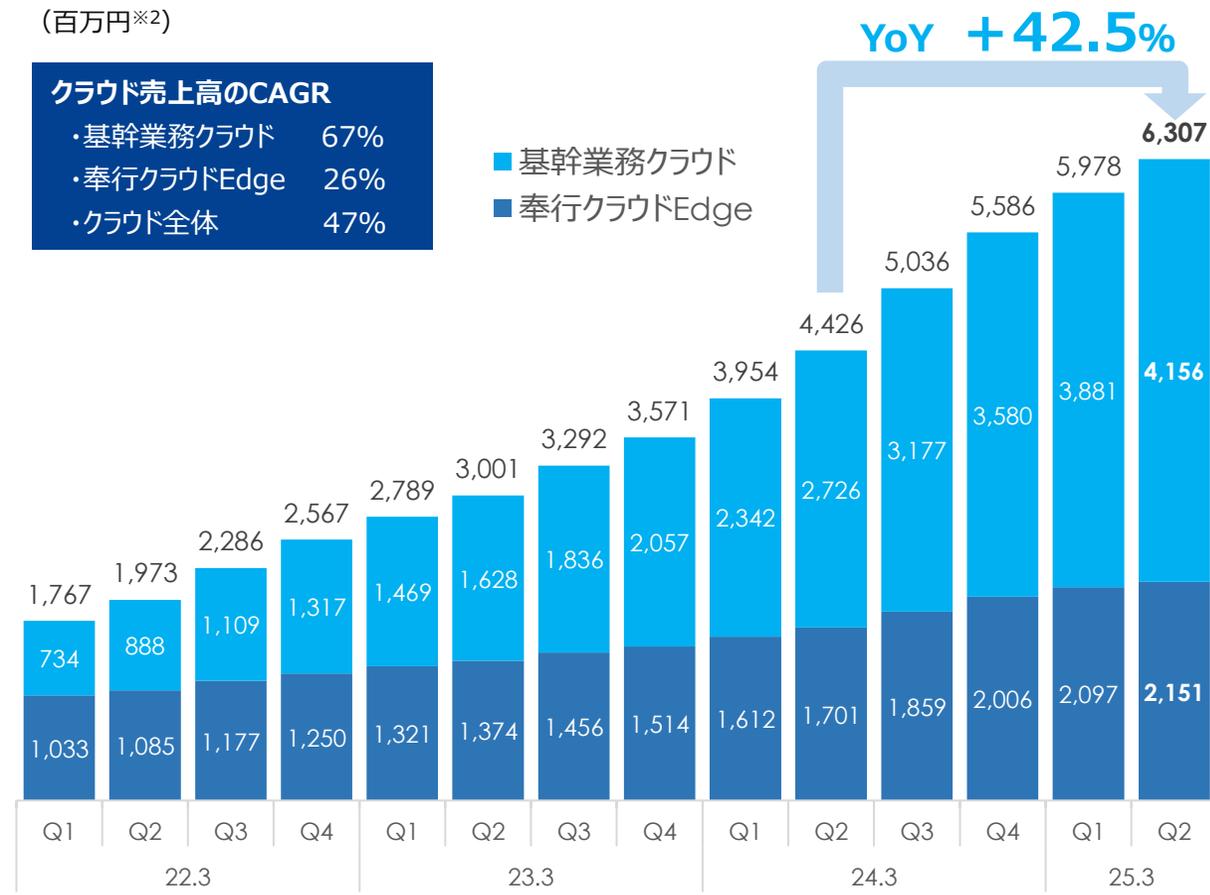


クラウド四半期売上高の推移

(百万円※2)

クラウド売上高のCAGR

- ・基幹業務クラウド 67%
- ・奉行クラウドEdge 26%
- ・クラウド全体 47%



※1：2022年3月期Q2から2025年3月期Q2の年間平均伸び率（Compound Annual Growth Rate）

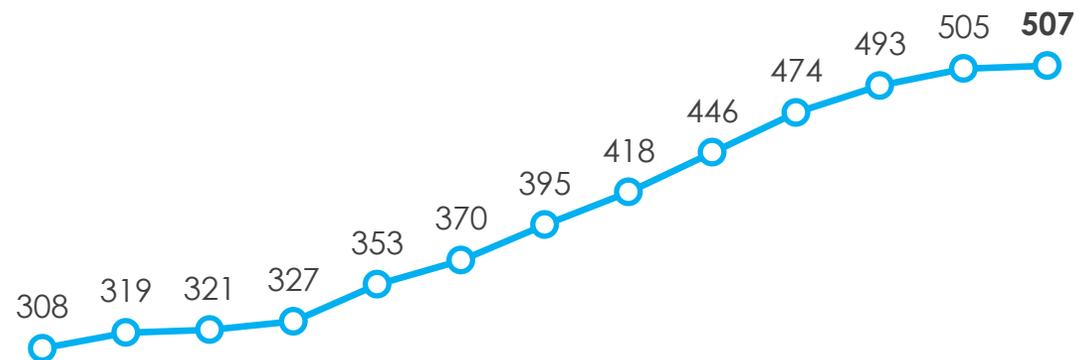
※2：百万円未満四捨五入

クラウドARPU・クラウド稼働システム数の推移

価格改定効果が一巡し、ARPUの伸びは緩やかに推移。クラウド稼働システム数は堅調に増加が継続。

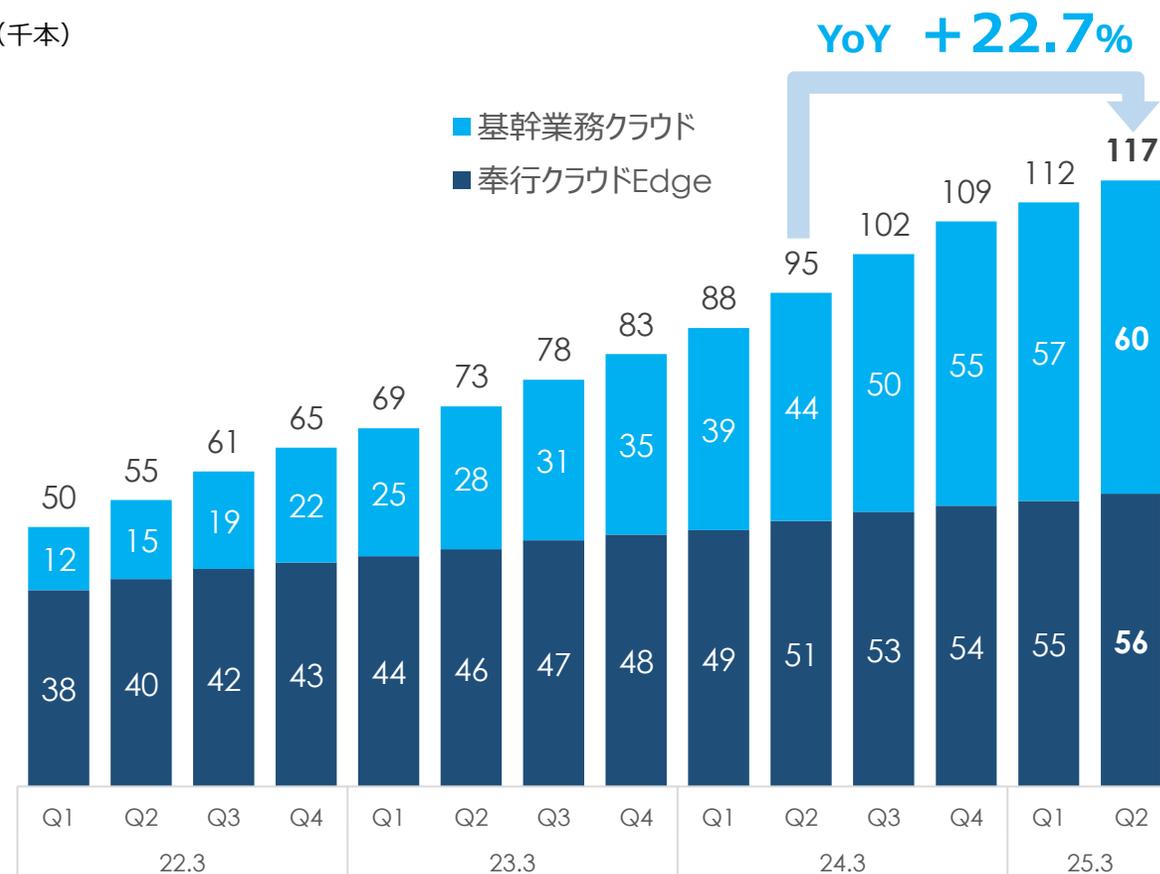
クラウドARPUの推移

(千円)



クラウド稼働システム数の推移※1

(千本)



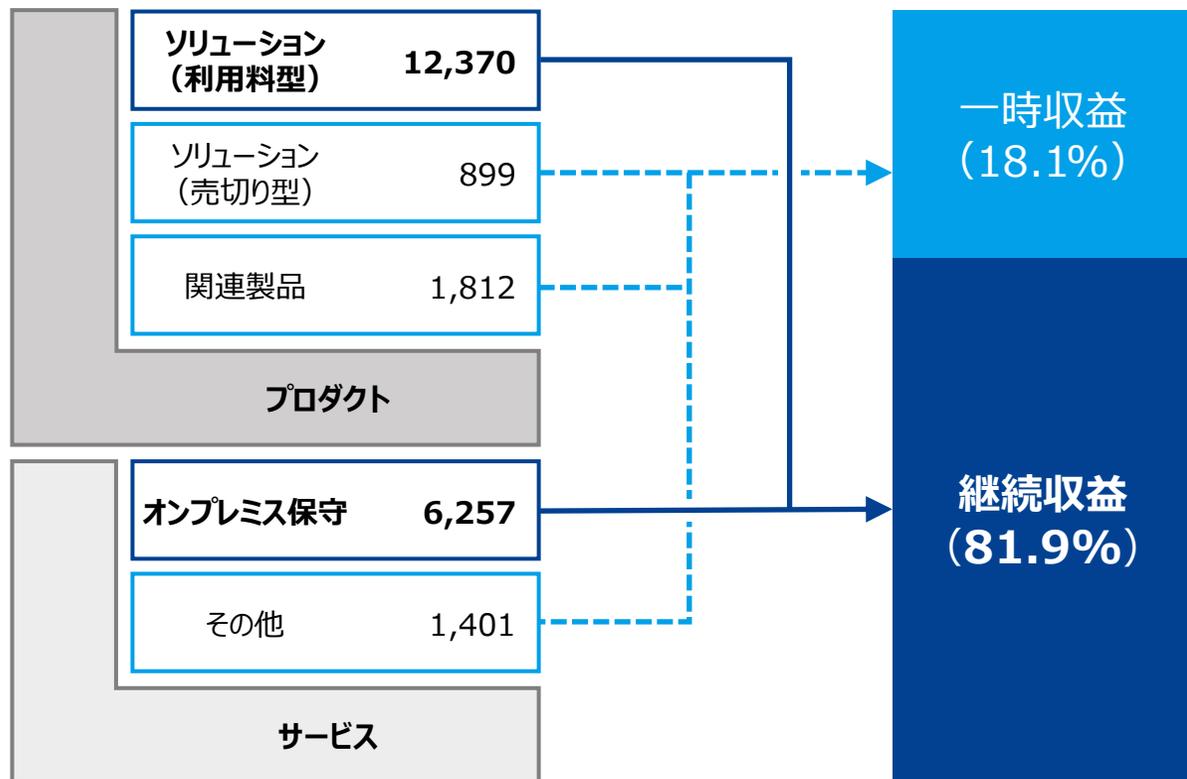
※1：クラウドの全利用システム数（オプション等含む）

継続収益比率

クラウド増加により継続収益が順調に拡大

2024.9期の売上構成比

(百万円※1)

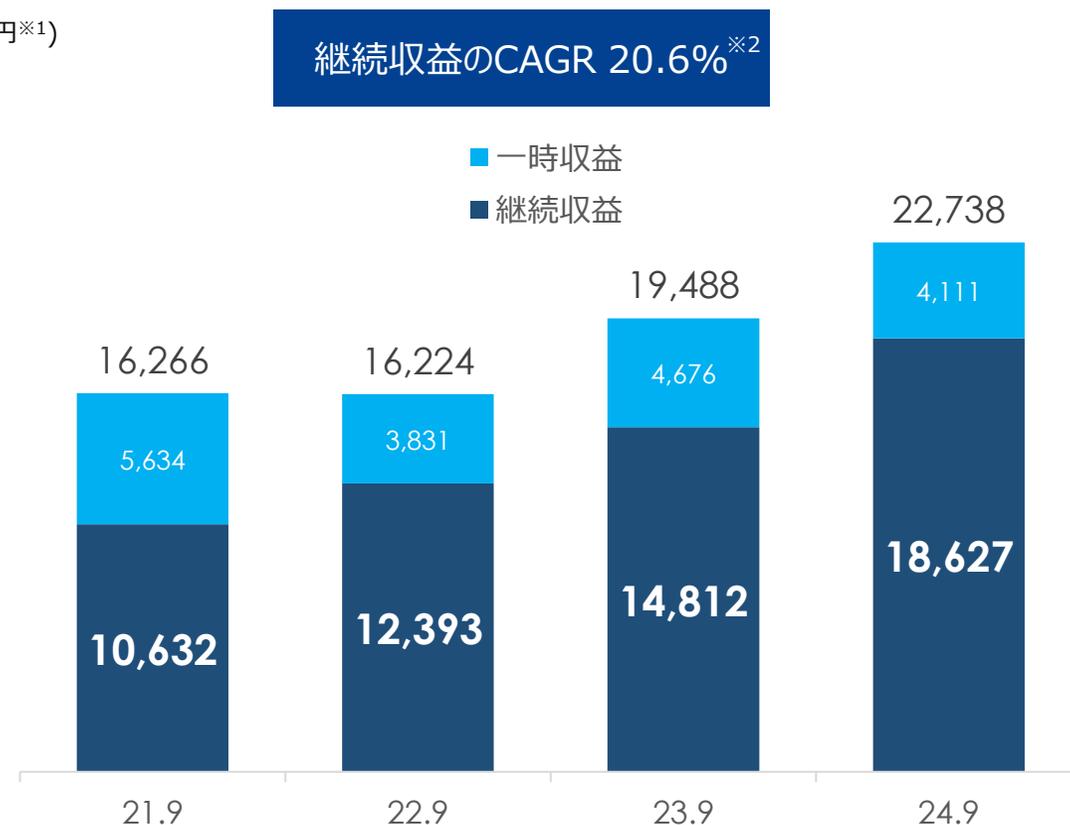


※1: 百万円未満四捨五入

※2: 2021年9月期から2024年9月期の年間平均伸び率 (Compound Annual Growth Rate)

継続収益の推移

(百万円※1)



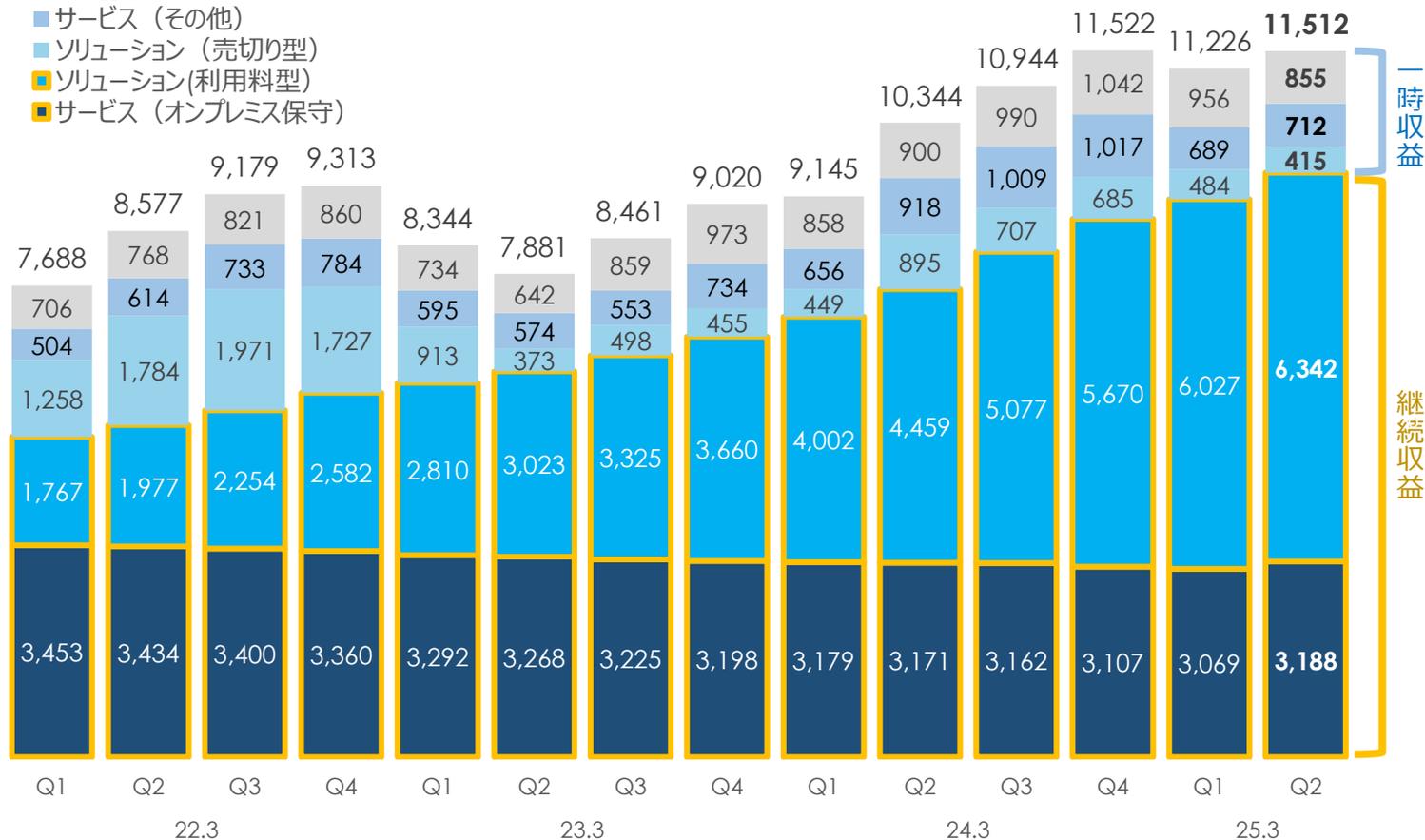
売上構成・営業利益の推移

クラウド増加により継続収益が順調に拡大

売上構成の推移※1（四半期単位）

(百万円)

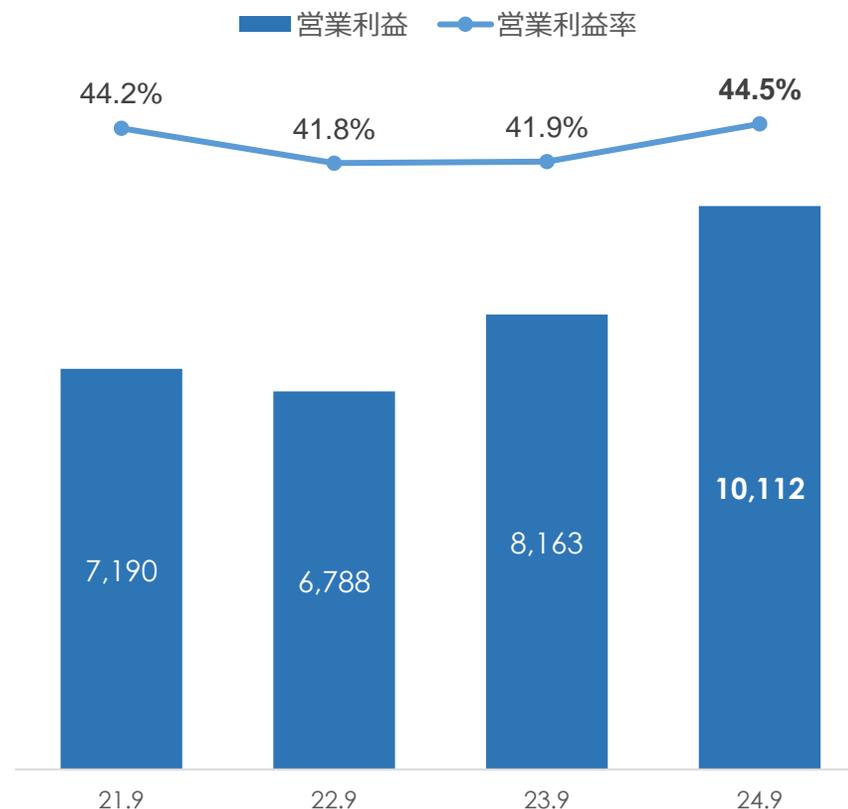
- 関連製品
- サービス（その他）
- ソリューション（売切り型）
- ソリューション（利用料型）
- サービス（オンプレミス保守）



※1：百万円未満四捨五入

営業利益と営業利益率※2の推移

(百万円)



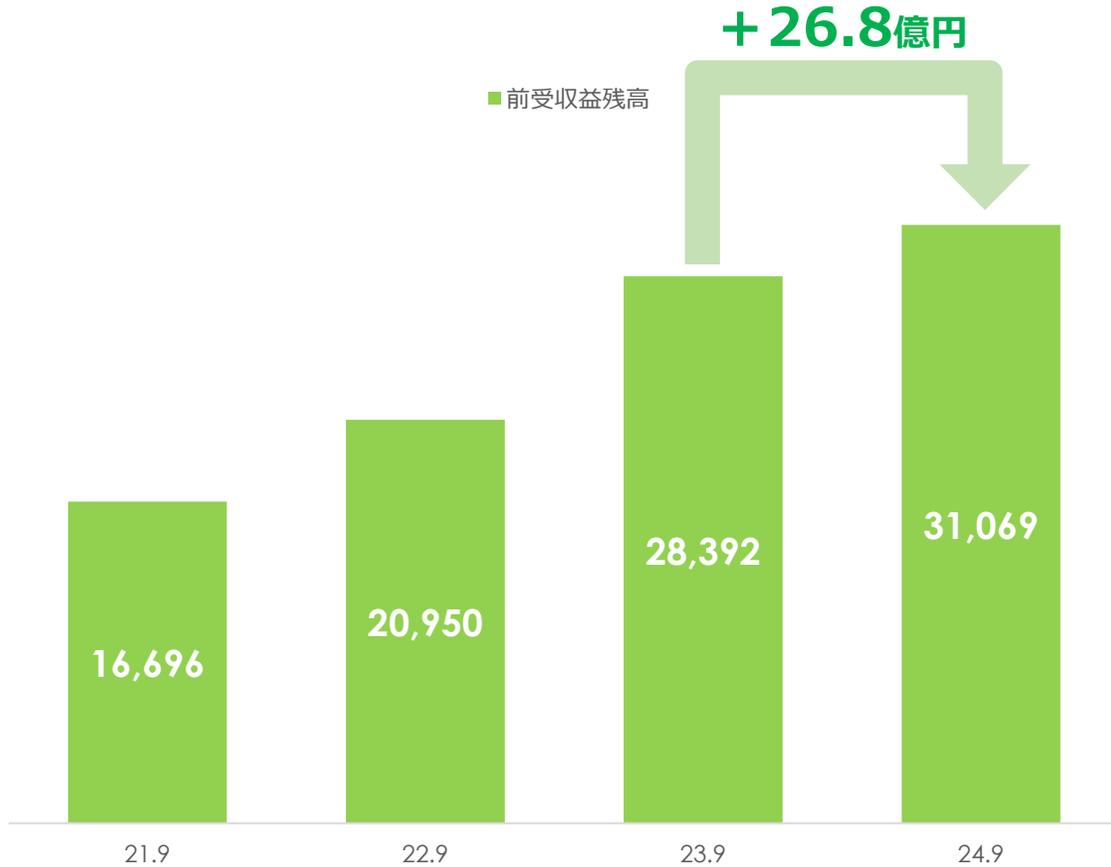
※2：営業利益率 = 営業利益 / 売上高

前受収益残高と契約継続率の推移

前受収益は前年同期比で27億円の増加。契約継続率は高水準を維持。

前受収益残高の推移

(百万円)



契約継続率の推移



Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
	22.3			23.3				24.3			25.3



3. 2025年3月期事業計画

2025年3月期 通期事業修正計画

経常利益までは期初計画を据え置き。上期に発生した投資有価証券売却益を加味し、当期利益を修正。

(百万円)	24/3期 通期		25/3期 期初計画		25/3期 修正計画		増減額 ^{※2}
		構成比(%)		構成比(%)	構成比(%)		
売上高	41,954	100.0	48,000	100.0	48,000	100.0	0
売上総利益	34,341	81.9	39,319	81.9	39,319	81.9	0
販売管理費	15,593	37.2	17,819	37.1	17,819	37.1	0
営業利益	18,748	44.7	21,500	44.8	21,500	44.8	0
営業外損益	1,121	2.7	900	1.9	900	1.9	0
経常利益	19,869	47.4	22,400	46.7	22,400	46.7	0
当期利益	13,841	33.0	15,540	32.4	15,704 ^{※1}	32.7	164

※1 法人税等実効税率：30.6%

※2 25/3期 期初計画と修正計画の増減額

修正計画のポイント

売上高		前年同期比14.4%増		480億円	
(百万円)	上期実績	下期計画		増減額 ^{※1}	通期計画
		期初計画	修正計画		
ソリューション	13,269	15,365	15,066	△298	28,335
関連製品	1,812	2,107	2,130	23	3,942
サービス	7,658	8,138	8,065	△72	15,723
合計	22,738	25,610	25,261	△348	48,000

※1 下期の期初計画と修正計画の増減額

営業利益	前年同期比 14.7%増	215億円
------	--------------	-------

経常利益	前年同期比 12.7%増	224億円
------	--------------	-------

当期利益	前年同期比 13.5%増	157億円
------	--------------	-------

修正計画のポイント

売上高

■ ソリューション

- ✓ 前期のインボイス制度対応特需の反動減を加味し、クラウド売上高下期計画を修正

■ サービス

- ✓ 上記クラウド売上減少に伴い、インストラクター指導売上高の下期計画を修正

特別損益

- 投資有価証券売却益（特別利益） 229百万円（上期実績）を通期計画に加算



4. NEXTステージに向けた成長戦略

OBCの価値

クラウド技術によりお客様のDXを実現

いつでも・どこでも

奉行クラウドはいつでもどこでも24時間365日アクセス可能。ユーザーは自分の好きな場所で作業でき、業務の効率を高めることができます。この柔軟性は、特にリモートワークが増加する中で重要です。

つながる・ひろがる

多くのソリューションとの自動連携によりデータは人を介さずにスムーズに流れます。それにより業務の継続性が強化され、ビジネスの成長（DX社会）をサポートします。

職業専門家ライセンス（BPaaS）

奉行クラウドは、専門家向けライセンスを提供し、アウトソーシングの柔軟性を高めています。企業が必要なときに専門家や金融機関の支援を受けられることが大きな利点です。

機能を拡大したサポート・サービス

「奉行の使いこなし」を徹底支援

公式ユーザーコミュニティ「奉行まなぼーど」の提供、公式ユーザーイベント「奉行クラウドThanks Day」の開催、「年間マップ」などユーザー企業の業務効率化に役立つ機能を多数搭載。

AIとの連携

AIを用いたサポートは、顧客が直面する問題を迅速に解決します。特に給与奉行クラウドではAIチャットを活用し、年末調整などの繁忙期に対応力を高めています。

プログラム自動更新

奉行クラウドは日々どんどん機能をアップデートしています。ログイン時にプログラムの更新を自動で判断し、更新されています。そのため、常に最新の機能を利用することができます。

安全・安心のセキュリティ

データの信頼性

Azure + SQL Databaseによるプラットフォーム

奉行クラウドサービスが提供するセキュリティ

多層的なセキュリティ対策（OBCiD、WAF等）

開発・管理・運用体制

ISMALP（登録準備中）やSOC 1・SOC 2（いずれも取得済）に基づいた運用体制

NEXTステージに向けた成長戦略

基幹業務のDXを支援、UXを提供し、企業経営のSXに貢献する

(デジタルトランスフォーメーション)

(ユーザーエクスペリエンス)

(サステナビリティトランスフォーメーション)

中堅・上場企業ならではの
「広がり・成長」を提供する

業務のアウトソーシングを
クラウドサービスで提供

すべての奉行が業務の
AIアシスタントへ

1



即戦力 SaaS型

奉行[®]ERP
クラウド

2



BPaaS戦略

3



AI・セキュリティ強化

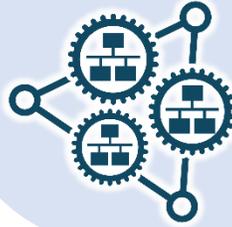
奉行V ERPクラウドが目指すNEXTステージ

中堅・上場企業
ならではの

3つの

広がり・成長

1 マスターマネジメントの強化



システムを超えたマネジメント
マスターマネジメントの提供を開始。
システムを超えたマネジメントサービスへと広がる。

2 Group Management Modelの強化



連結経営におけるデータ活用が広がる
会計・人事労務それぞれで求められる
グループ経営を実現し、企業グループ
の中でのデータ活用が広がる。

3 ノーコード・ローコードツールのアダプタ提供



業務範囲の拡張
自社に適したユーザーインターフェースを
提供し、業務の幅が広がる。
(Fit and GapからFit to Standardへ)

業務アウトソーシングはクラウドサービスとの融合により大きく進化・発展

記帳代行のような作業をメインとするアウトソーシングはクラウドを活用した支援業務に進化

BPO

特定の業務プロセス
そのものを外部企業
に委託するサービス

BPaaS

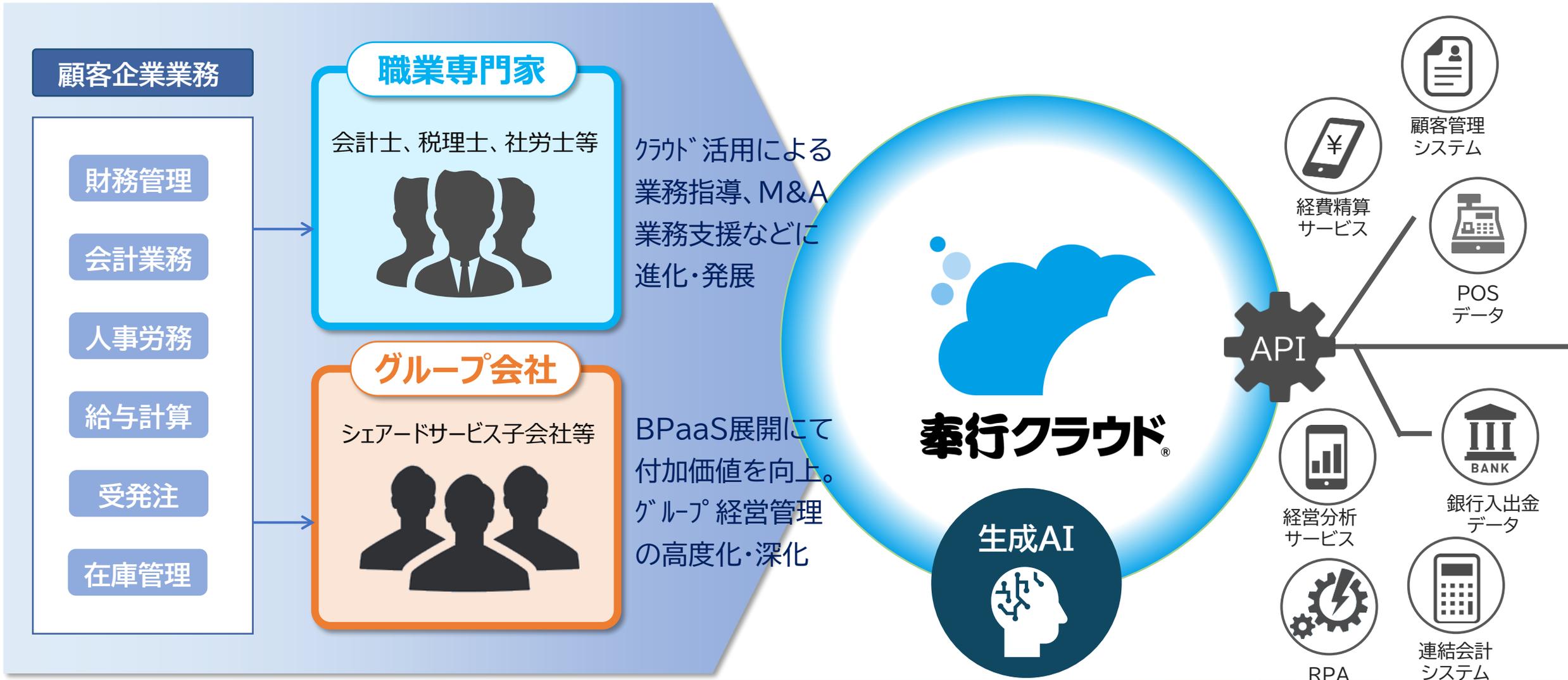
企業が自社で行っていた特定
の業務プロセスを、外部企業
が提供するクラウド上の
サービスに委託することで、
業務効率化を目指すサービス

SaaS

ソフトウェアをクラウド上
で提供するサービス

2 BPaaS (BPO+SaaS) 戦略

奉行クラウドは職業専門家ビジネスの拡張やグループ経営管理の高度化推進に貢献



OBCのAI戦略

奉行クラウド製品
全体にAIを実装



大変好評なAIチャットを今年度中
に奉行クラウド全製品へ搭載予定

サポートセンター
でのAI活用による
サポート力強化



AIの伴走により、問合せ履歴など
からの情報検索をよりクイックに

ISM MAPによる
クラウドサービス
セキュリティ向上



政府情報システムのための
セキュリティ評価制度に対応予定

セキュリティ：OBCが提供する3つの安全・安心

① Azure + SQL Database が提供するセキュリティ(プラットフォーム)

世界トップレベルセキュリティ

米国国防総省に次ぐサイバー攻撃を防御し、その情報を反映

日本政府選定 ガバメントクラウド

政府が認めた共通利用クラウド環境

日本国内データセンター限定(国内法準拠)

データは国内法が適用される日本国内データセンターにのみ保管

東日本・西日本バックアップ (BCP/6重化)

東日本をメインとし、西日本にバックアップ、それぞれで3重化されます

月間稼働率99.9%保証 (※Azure SLA)

Azureのサービスレベルアグリメント



東日本データセンターを中心に、西日本のデータセンターをバックアップセンターとして活用



② 奉行クラウドが提供するセキュリティ(サービス)

OBCiDによるアクセス認証

一つのIDで複数の奉行クラウドサービスを利用。シングルサインオン対応

暗号化による強固なデータ保護

すべてのデータを暗号化。あらゆる通信をSSLで保護

24時間365日運用監視

利用状況、リソース状況などを自動監視。脅威に対する備えは万全

WAF(Web Application Firewall) + FireWall

WAFにより、様々なサイバー攻撃をブロック。FireWallですべてのサービス境界を防御

定期的な脆弱診断テスト

リリース時、および年1回の定期脆弱診断により、脆弱性を排除



③ OBCが提供するセキュリティ(開発・管理・運用体制)

ISM MAP (2025年春登録予定)

政府情報システムのためのセキュリティ評価制度

SOC1/SOC2 (内部統制/セキュリティ)

国際会計基準による第三者監査評価



第三者監査評価 大手監査法人による監査

ISM MAP/SOC1/SOC2は監査法人監査必須

国内最高レベルの 開発・管理・運用体制

ISM MAP/SOC監査により

「データの信頼性」の確保

データの信頼性は最も重要です。Microsoft Azureが提供するクラウドプラットフォーム、SQLデータベース、クラウド開発環境(PaaS)を採用することにより、継続的な「データの信頼性」を確保しています。

研究開発投資の成果を享受

MicrosoftがAIやセキュリティなど新技術に毎年投資する、数千億もの研究開発投資の成果を、奉行クラウド、奉行クラウドEdgeの各製品は自動的に享受することができます

Windowsアプリの使いやすさ

Windowsアプリを意識したユーザーインターフェースになっており、オンプレミスと同等以上のきめ細かい機能性・操作性を実現しています。



5. 注目トピック

6つの注目トピック

1

奉行Edge
請求書DX
クラウド

2

奉行クラウド
HR
DXSuite

3

時間外労働
上限規制

4

クレジット
カード自動
連携機能

5

給与デジタル
払いに対応

6

新リース会計
基準対応

あらゆる請求書業務がペーパーレスで完結

紙でもPDFでも、請求書の形式を問わずペーパーレスを前提とした業務環境に置き換えることができるため、面倒な手作業やミスがゼロになる。さらに、請求書の発行側と受取側どちらもPeppol仕様(奉行シリーズは対応済)を利用することで、PDFの読取りや保管業務もゼロになる。

奉行Edge 発行請求書DX クラウド

請求書発行

業務プロセス

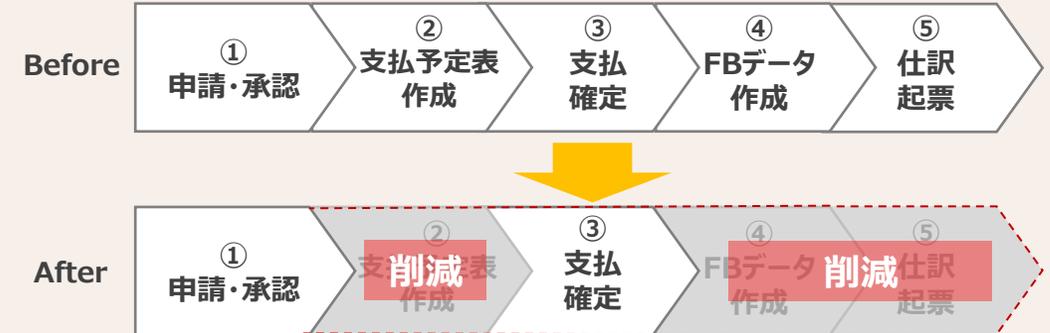


5プロセス→1プロセスに削減

奉行Edge 受領請求書DX クラウド

請求書受領

業務プロセス



5プロセス→2プロセスに削減

あらゆる総務・人事・労務業務をDX化

人事マスター管理も自動連携。人事労務書類のペーパーレス化で従業員満足度を向上

人事労務手続きに必要な「やることリスト化」アシスト機能によって業務の属人化を防止

労務管理・雇用契約・社会保険申請・給与計算・明細配付・年末調整申告等業務をフルカバー



総務・人事担当



管理資料も豊富でかんたん・迅速・リアルタイムに人事戦略に活用

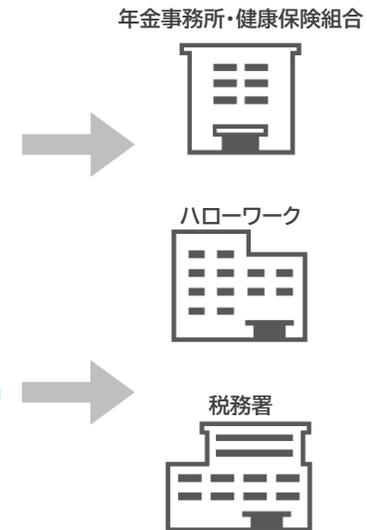


経営者・マネージャー

各種の申請手続きがマルチデバイスでいつでもどこからでも簡単



従業員



時間外労働上限規制の3業種にも対応

勤怠管理システムの導入が難しい3業種に合わせた運用モデルをご用意

- ✓ ドライバーの”働きすぎ”を未然に防止
- ✓ 拘束時間の例外条件に沿った集計
- ✓ 休息時間の確保に向けた対応

- ✓ 建設業特有の働き方に対応
- ✓ 36協定に沿った運用の自動監視
- ✓ 長時間労働の抑制

- ✓ 医療従事者の”働きすぎ”を未然に防止
- ✓ 早期の健康確保措置
- ✓ 自己研鑽時間・副業先の労働時間管理

運送業向け 提案資料

運送業の「時間外労働上限規制」に向けて法改正の内容・対応すべきことをご紹介します

アルコールチェッカー打刻

アルコールチェッカーと連携して打刻できます。勤怠打刻の流れでアルコールチェックが完了するため、業務の負担なくスムーズな運用を実現できます。

【改善基準告示】の改正

時間外労働の上限規制を踏まえ、拘束時間・休憩時間・運転時間等を規制する改善基準告示の見直しが行われ、こちらから2024年4月から新基準が適用されます。

改善基準告示とは？

すべての産業に適用される労働基準法では規制が難しい産業等に、労働時間・休憩時間等の改善のための基準を「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」で定めています。これを改善基準告示と呼びます。

建設業向け 提案資料

建設業の「時間外労働上限規制」に向けて法改正の内容・対応すべきことをご紹介します

① 工数管理 (工数実績の入力)

【専門家監修】建設業のための実務攻略ガイドブック

規程の整備については、具体的な手順や注意すべきポイントを専門家監修ガイドブックでさらに詳しく紹介しています！

ダウンロード時ダウンロードできます！

医療機関向け 提案資料

医師の「時間外労働上限規制」に向けて法改正の内容や医療機関がすべきことをご紹介します

奉行クラウドが実現する人事労務DXの全体像

勤務医の健康を守るためのルール

勤務医の健康を守るため、「医師への面接指導のルール」と、長時間勤務中でも適切な休息時間を確保するためのルールが設けられます。

適用される基準	960時間	1,860時間	1,860時間	1,860時間
A (一般労働者適用)	960時間	1,860時間	1,860時間	1,860時間
運送部 (自動車運転者適用)	960時間	1,860時間	1,860時間	1,860時間
B (診療業務)	960時間	1,860時間	1,860時間	1,860時間
C (臨床・手術等)	960時間	1,860時間	1,860時間	1,860時間
C-2 (臨床・手術等)	960時間	1,860時間	1,860時間	1,860時間

医師の健康を守るためのルール

勤務医の健康を守るためのルール

勤務医の健康を守るためのルール

4 クレジットカード自動連携機能

法人クレジットカード利用明細と勘定奉行クラウドが連携可能（MoneyLook経由）

実務に沿った運用ができるように2つの運用フローに対応可能

- 推奨** ① 受領した証憑をもとに仕訳起票し、決済確定後に取得した明細と仕訳を紐づけするフロー
- ② 証憑は都度受領し、決済確定後に取得した明細をもとに仕訳起票するフロー

推奨フロー



『奉行クラウド』なら、給与デジタル払いに完全対応！

給与デジタル払いをするための従業員への周知・同意収集から「PayPay給与受取」での給与支払いまで、『奉行クラウド』であれば給与計算担当者の業務負担をかけずに通常の銀行振込と同様に給与デジタル払いを実現できます。



- ※ 本連携および機能提供は2025年春頃を予定しています
- ※ 「PayPay給与受取」に関する情報は以下のウェブサイトよりご確認ください
<https://paypay.ne.jp/guide/paycheck-employer/>

固定資産・リース資産の管理をフルカバー。新リース会計基準の対応準備に万全サポート

新リース会計基準(2027年4月以降開始会計年度から強制適用)への対応準備において、まず、固定資産奉行V ERPクラウドにリース契約情報を投入。

修正

コード: 215-000016 - 契約番号: L4

処理事業年度: 2024年 3月期 登録件数: 20

資産名カナ: エイギョウヨウソウドウシャ
 資産名: 営業用自動車(オペレーティング)
 リース会社: 00000012 大阪事務株式会社
 取引区分: 2 オペレーティング・リース 処理方法: 1 賃貸借処理

リース終了日付: 2024年 9月30日
 返却日付: 年 月 日

【基本契約情報】	初回	基本	総額
リース期間	48 カ月	リース料(税抜)	50,000
リース開始日付	2020年10月 1日	消費税額(10%)	4,000
リース終了日付	2024年 9月30日	維持管理費用(税抜)	0
支払回数	48 回	消費税額(10%)	0
支払間隔	1 カ月ごと	リース料(税抜)	50,000
支払開始日付	2020年10月15日	消費税額(10%)	4,000
支払日	15 15日支払	維持管理費用(税抜)	0
前払・後払	0 前払い	消費税額(10%)	0
支払方法	3000 口座振替	リース料(税抜)	2,400,000
支払額	0 すべて同じ	消費税額	192,000
		維持管理費用(税抜)	0
		消費税額	0

支払日付	年 月 日
前払	充当回数 0 回
リース料(税抜)	0
消費税額	0
残価保証額	会計 0
	IFRS 0
中途解約	0 解約不能
所有権移転条項	0 対象外
割安購入権	0 対象外
特別仕様	0 対象外
貸手の購入価額等	0 明示されていない
見積現金購入価額(税抜)	1,500,000
消費税額	144,000

リース取引区分を契約情報から自動判定
 (現行日本基準及びIFRS16号準拠は実装済)

契約	物件	会計処理	月次支払	移動	遊休	再リース	契約終了
【再リース履歴情報】							
No.	1						
リース期間	12	カ月					
リース開始日付	2024年10月 1日						
リース終了日付	2025年 9月30日						
支払回数	1	回					
支払間隔	1	カ月ごと					
支払開始日付	2024年10月						
支払日	15	15日					
支払額	0	すべて					
リース料(税抜)							

移動や再リース、契約終了といった
 ライフサイクルを詳細に管理

新リース会計基準に準拠した自動判定機能を実装予定

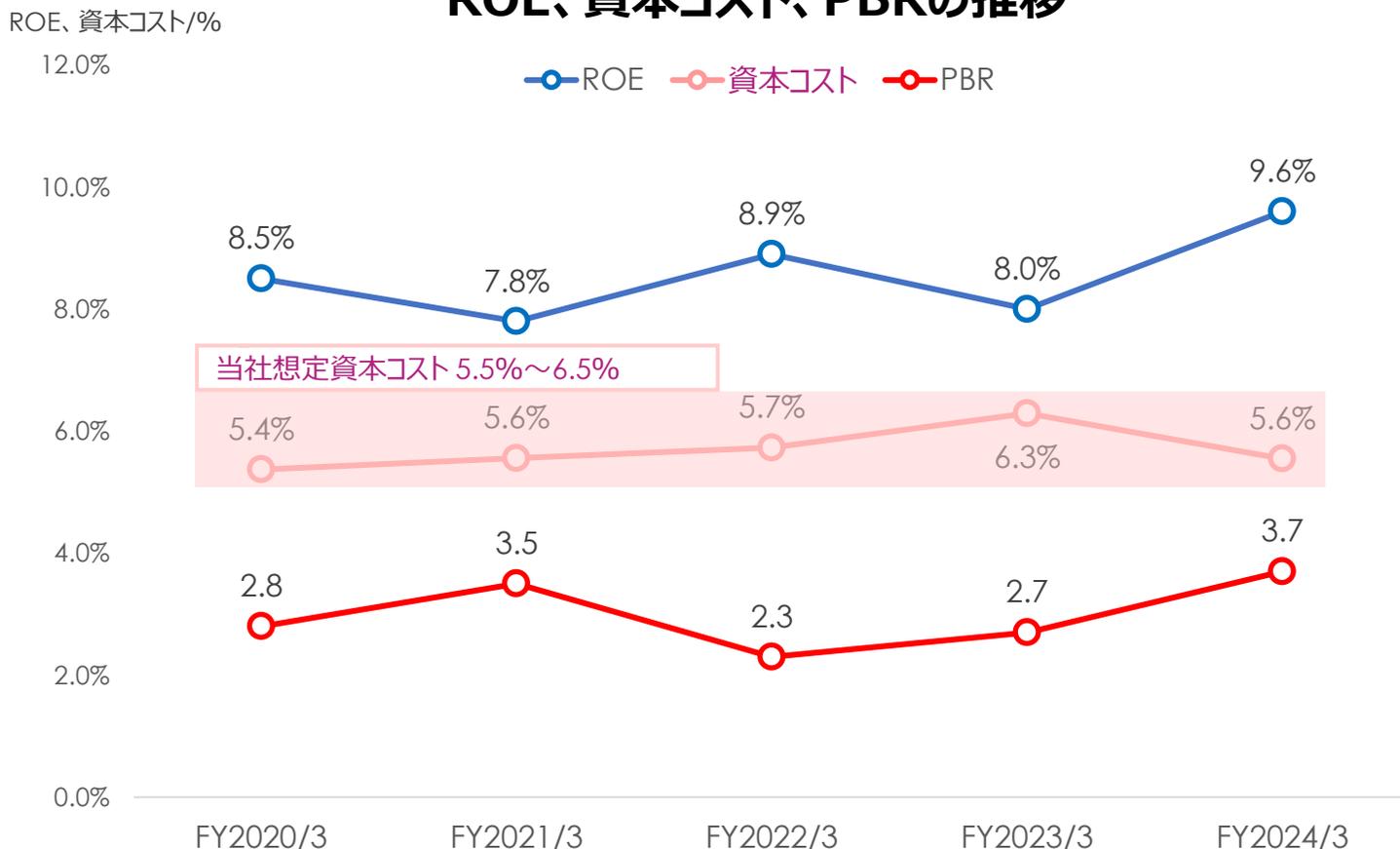
6. 資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応



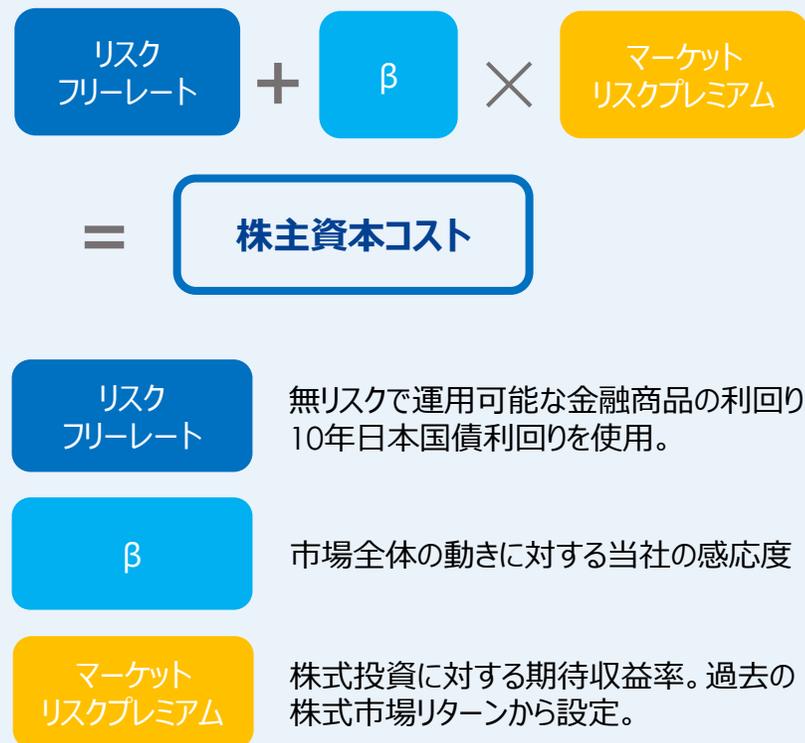
資本収益性と市場評価の現状分析

- 当社の株主資本コストは、概ね5.5～6.5%と想定
- ROEは株主資本コストを超えて推移。今後は、ROE 10%以上を目指す。

ROE、資本コスト、PBRの推移



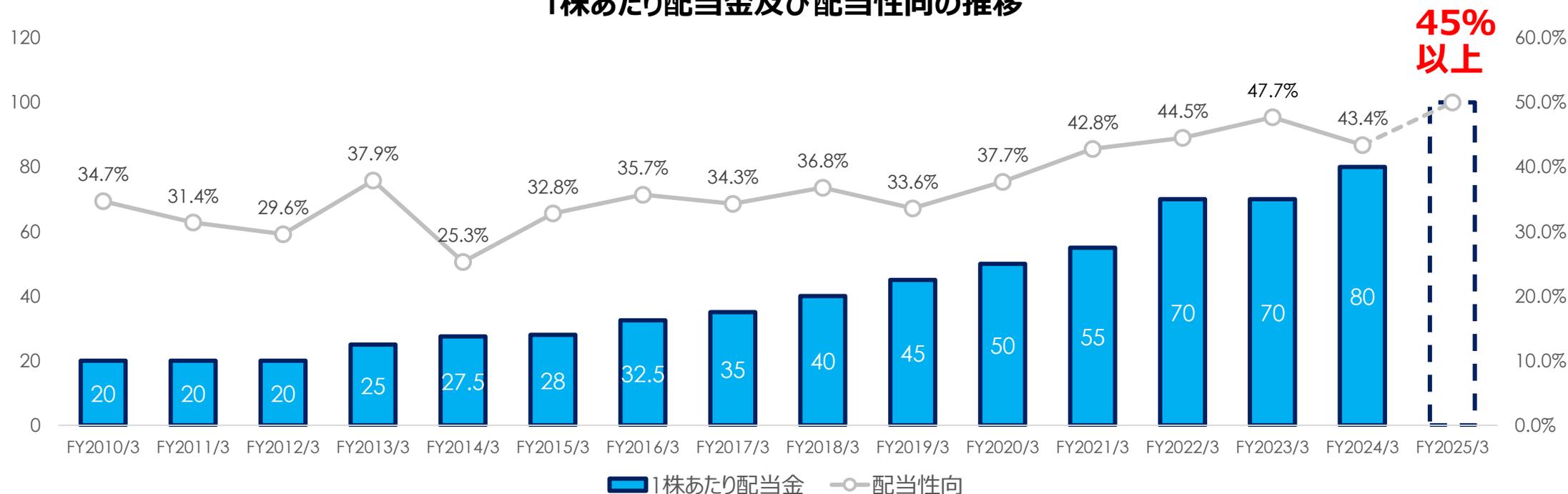
株主資本コストの前提 (CAPMに基づく)



今後の取組み【株主還元強化】

- 当面は配当性向45%程度を予定
- 今後も長期に安定した利益還元を維持し、利益成長に合わせた増配を目指す

1株あたり配当金及び配当性向の推移



2014年3月期、2019年3月期は、1株につき2株への株式分割を行っており、分割前値で表記しています。

Appendix



会社概要・奉行クラウドシリーズ



商号	株式会社オービックビジネスコンサルタント OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO.,LTD
代表者	代表取締役社長 和田 成史
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号住友不動産新宿オークタワー
設立	1980年12月
事業開始	1981年7月
資本金	105億1,900万円
従業員数	1,266名（2024年4月1日現在、臨時雇用者数含む）
決算期	年1回（3月）
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：4733）
事業内容	企業業務（会計・人事・給与等の基幹業務や、それに係る周辺業務）に関するソリューションテクノロジーの開発メーカーとして、パートナー企業を通して、お客様の業務効率化に貢献するクラウドサービス等を提供
事業所	札幌・仙台・関東・東京・横浜・静岡・名古屋・金沢・大阪・広島・福岡
開発センター	東京（常時400名規模の開発体制）



▲ 開発センター

業務クラウド国内No.1ブランド「奉行シリーズ」

小規模・中小企業向け
基幹業務クラウド



中堅・上場企業向け
クラウドERP



従業員向け
働き方改革ソリューション



累計導入数

800,000

※2024年8月現在

中堅企業 > 累計 **17,841**
奉行V ERP > 累計 **14,758**
上場企業 > 累計 **1,807**

奉行クラウド
奉行クラウドEdge
累計導入システム

139,310 システム以上

※2024年8月現在

契約継続率* > **99.3** %

利用者数 > **1,367** 万人

奉行Edge マイナンバークラウド

※2024年8月現在

利用数 **13,130**

利用者数 **3,191,600**人

奉行Edge 勤怠管理クラウド

※2024年8月現在

利用数 **12,810**

利用者数 **1,327,900**人

奉行Edge 年末調整申告書クラウド

※2024年8月現在

利用数 **12,900**

利用者数 **2,430,800**人

奉行Edge 給与明細電子化クラウド

※2024年8月現在

利用数 **18,400**

利用者数 **2,711,600**人



日経コンピュータ調査 2024年9月5日号

顧客満足度調査 2024-2025

ERP部門 **第1位**

OBC、6年連続 通算17回目の第1位を獲得

(受賞年：2005～2011年、2014年～2017年、2019年～2024年) ※本調査は製品ではなく企業を対象にしたものです。

	総合満足度	性能・評価	信頼性	運用性	コスト	サポート	継続意向度
重視度		63.7	67.2	60.6	43.8	34.1	
全体平均 [有効指数は合計値]	54.0	58.2	64.1	51.8	37.5	51.3	56.7
オービックビジネス コンサルタント [奉行V ERPなど]	73.4	77.0	80.7	74.5	55.9	72.8	76.1



日経コンピュータ 2024年3月7日号

パートナー満足度調査 2024

基幹系ソフト/サービス部門 **第1位**

OBC4年連続 通算12回目の第1位を獲得

(受賞年：2006年、2008年、2009年、2011年～2013年、2016年、2019年、2021年～2024年)

※本調査は製品ではなく企業を対象にしたものです。

奉行クラウドと奉行クラウドEdgeの5つの強み

1

高い業務レベルに対応

**今まで以上の
高品質**

機能性・スピード・
操作性

2

業務環境の多様性に対応

**いつでも
どこでも**

テレワーク
多様な働き方対応

3

業務のデジタル化を実現する

**つながる
ひろがる**

データ連携
APIエコノミー

4

プロフェッショナルの支援

**職業専門家
ライセンス**

専用ライセンスを
標準提供

5

DXを成功に導く

セキュリティ：OBCが提供する3つの安全・安心

多様な業務環境の提供し、業務の生産性を向上させる

1 今まで以上の高品質

従来の奉行シリーズより、機能性・スピード・操作性すべてにおいて、「今まで以上」を実現しています。

従来の機能性に自動化機能を加え 精度と生産性を向上



今までと同じ業務ができる安心に加え、自動化など、「業務のデジタル化」の実現により今まで以上に速く・正確な業務が可能になります。

業務のプロも納得のスピード

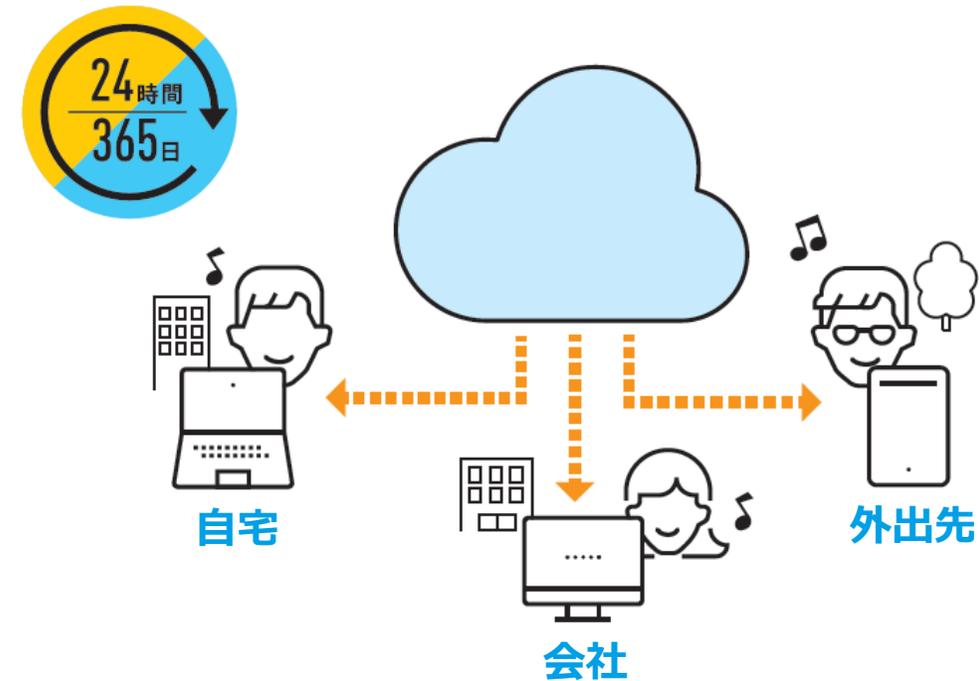


高速処理を実現するAzure SQL Database (Premium)および、操作性を飛躍的に高めるWPF※の採用により、快適な業務を実現します。
※Windows Presentation Foundation

2 いつでも・どこでも

奉行クラウドは、いつでも、どこからでも利用でき、多様な働き方に対応します。

リモートワーク、在宅勤務／テレワークなど、時間や場所にとらわれない働き方に対応

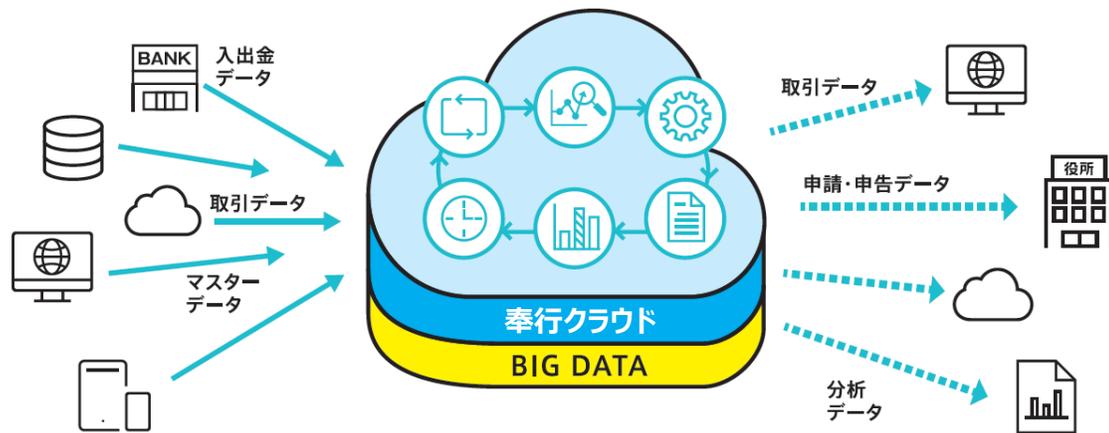


業務をデジタル化(DX)し、より高いレベルで企業をサポートする

3 つながる・ひろがる

システムの垣根を超えて、かんたん・シームレスにデータを自動連携し、幅広い業務をデジタル化します。

データが自動的につながり、
データ受入や入力作業が不要に

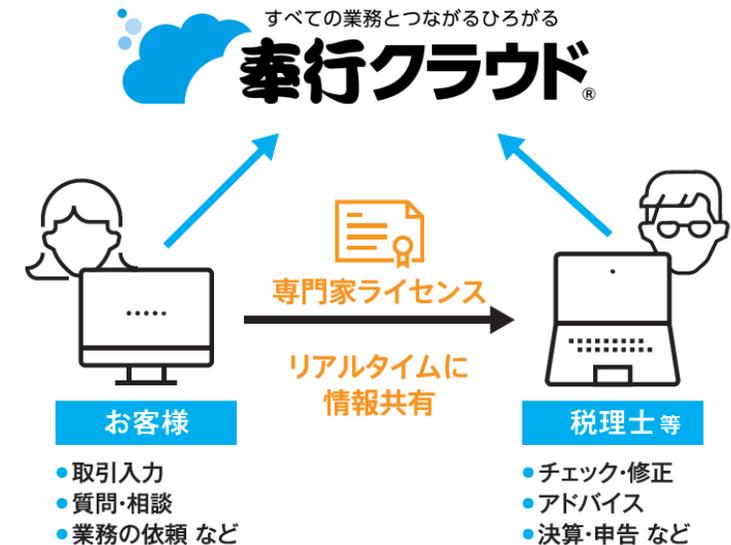


<https://www.obc.co.jp/bugyo-cloud/apiservice>

4 職業専門家ライセンス

税理士・社労士などの職業専門家と一緒に利用できる「専門家ライセンス」を標準提供しています。

プロの支援を受けながら
業務が可能に



様々な専門家にライセンスを提供可能



5

セキュリティ：OBCが提供する3つの安全・安心

① Azure + SQL Database が提供するセキュリティ(プラットフォーム)

世界トップレベルセキュリティ

米国国防総省に次ぐサイバー攻撃を防御し、その情報を反映

日本政府選定 ガバメントクラウド

政府が認めた共通利用クラウド環境

日本国内データセンター限定(国内法準拠)

データは国内法が適用される日本国内データセンターにのみ保管

東日本・西日本バックアップ (BCP/6重化)

東日本をメインとし、西日本にバックアップ、それぞれで3重化されます

月間稼働率99.9%保証 (※Azure SLA)

Azureのサービスレベルアグリメント



東日本データセンターを中心に、西日本のデータセンターをバックアップセンターとして活用



自動的に3重化

② 奉行クラウドが提供するセキュリティ(サービス)

OBCiDによるアクセス認証

一つのIDで複数の奉行クラウドサービスを利用。シングルサインオン対応



暗号化による強固なデータ保護

すべてのデータを暗号化。あらゆる通信をSSLで保護



24時間365日運用監視

利用状況、リソース状況などを自動監視。脅威に対する備えは万全

WAF(Web Application Firewall) + FireWall

WAFにより、様々なサイバー攻撃をブロック。FireWallですべてのサービス境界を防御

定期的な脆弱診断テスト

リリース時、および年1回の定期脆弱診断により、脆弱性を排除

③ OBCが提供するセキュリティ(開発・管理・運用体制)

ISM MAP (2025年春登録予定)

政府情報システムのためのセキュリティ評価制度

SOC1/SOC2 (内部統制/セキュリティ)

国際会計基準による第三者監査評価



第三者監査評価 大手監査法人による監査

ISM MAP/SOC1/SOC2は監査法人監査必須

国内最高レベルの 開発・管理・運用体制

ISM MAP/SOC監査により

「データの信頼性」の確保

データの信頼性は最も重要です。Microsoft Azureが提供するクラウドプラットフォーム、SQLデータベース、クラウド開発環境(PaaS)を採用することにより、継続的な「データの信頼性」を確保しています。

研究開発投資の成果を享受

MicrosoftがAIやセキュリティなど新技術に毎年投資する、数千億もの研究開発投資の成果を、奉行クラウド、奉行クラウドEdgeの各製品は自動的に享受することができます

Windowsアプリの使いやすさ

Windowsアプリを意識したユーザーインターフェースになっており、オンプレミスと同等以上のきめ細かい機能性・操作性を実現しています。

奉行クラウドをご利用いただくお客様のスムーズな導入・稼働をご支援します。



<動画でかんたんにまなべる！>

奉行まなぼーど

奉行クラウドをご利用中のお客様専用サイト「奉行まなぼーど」をご用意しています。導入手順はもちろん、稼働後の便利機能や活用Tipsを動画で分かりやすく学べるため、かんたんに使いこなしていくことができます。



<お客様の導入をマンツーマンでサポート！>

導入指導サービス

インストラクターがお客様の導入をご支援します。マンツーマンでご支援するため、お客様の運用や業務をヒアリングした上で最適な方法をご案内いたします！ ※別途有償サービスとなります。



<困ったときも安心！>

サポートセンター

お困りの際は、お電話でのサポートに加え、Web、FAXでのお問合せも受け付けております。お客様の画面を一緒に見ながら、具体的な操作方法をご案内するリモートサポートもご用意しています。

業務に精通した専任スタッフによる安心サポート

業務レベルに精通した専任スタッフが導入時はもちろん、お客様の様々な運用方法までご相談いただけます。OBCサポートセンターは確実・迅速に疑問にお応えします。

受付時間：月曜日～金曜日 9:30～12:00 / 13:00～17:00
※土曜日・日曜日・祝祭日、年末年始は休業
※業務繁忙時期は17:30までの時間延長を実施する場合あり（時期/製品の限定あり）



電話サポート

じっくりサポートを受けたい方向け

会員専用回線で専任オペレーターが丁寧にお問い合わせに対応します。**リモートサポートサービス**のご利用も可能です。

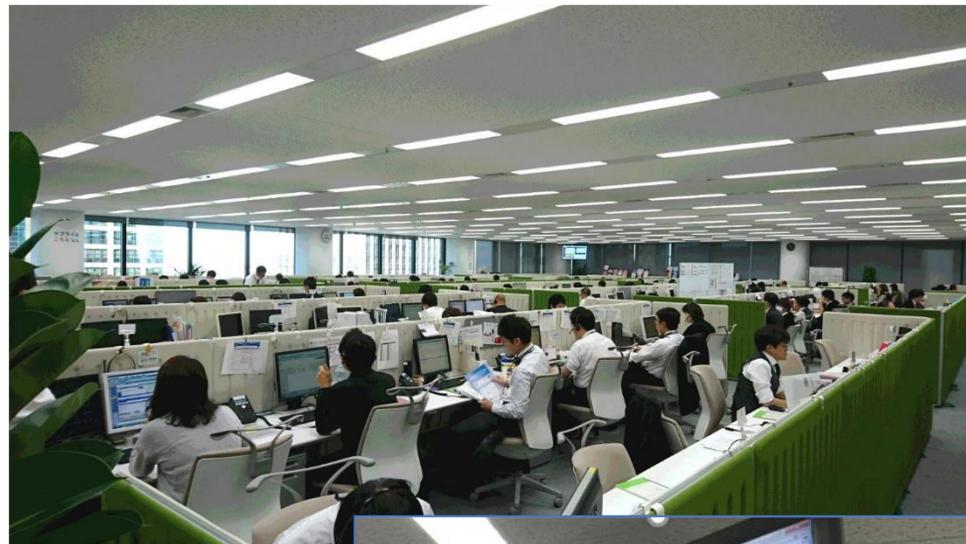


オンラインサポート

回答や履歴を残したい方向け

オンライン上のマイページからお問い合わせをさせていただくことが可能です。過去のお問い合わせ履歴を遡って確認することができます。

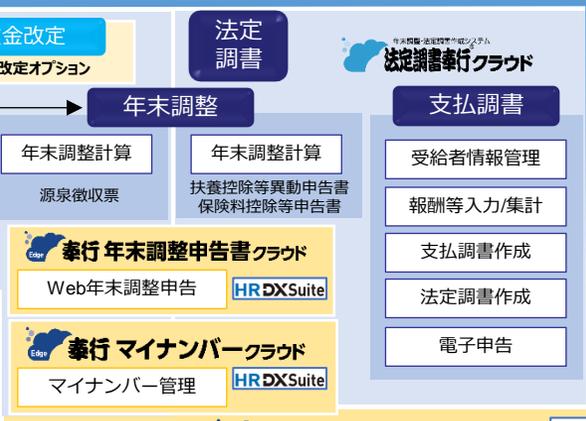
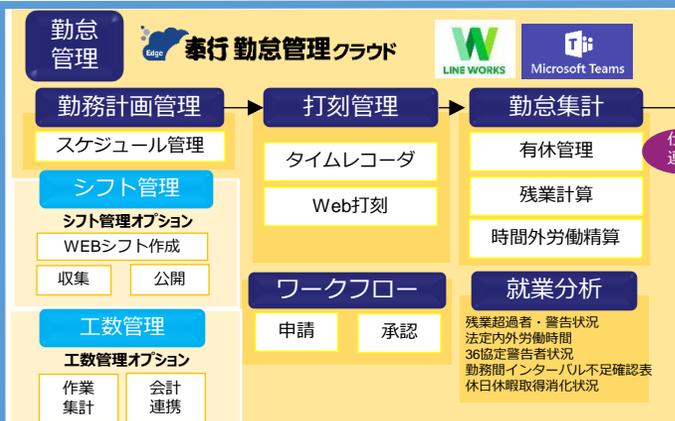
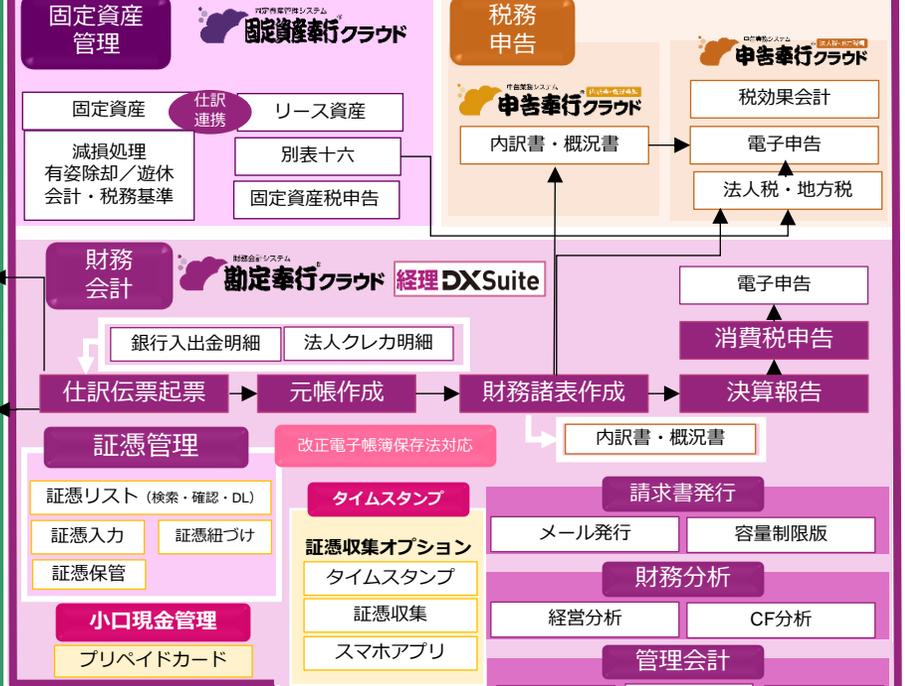
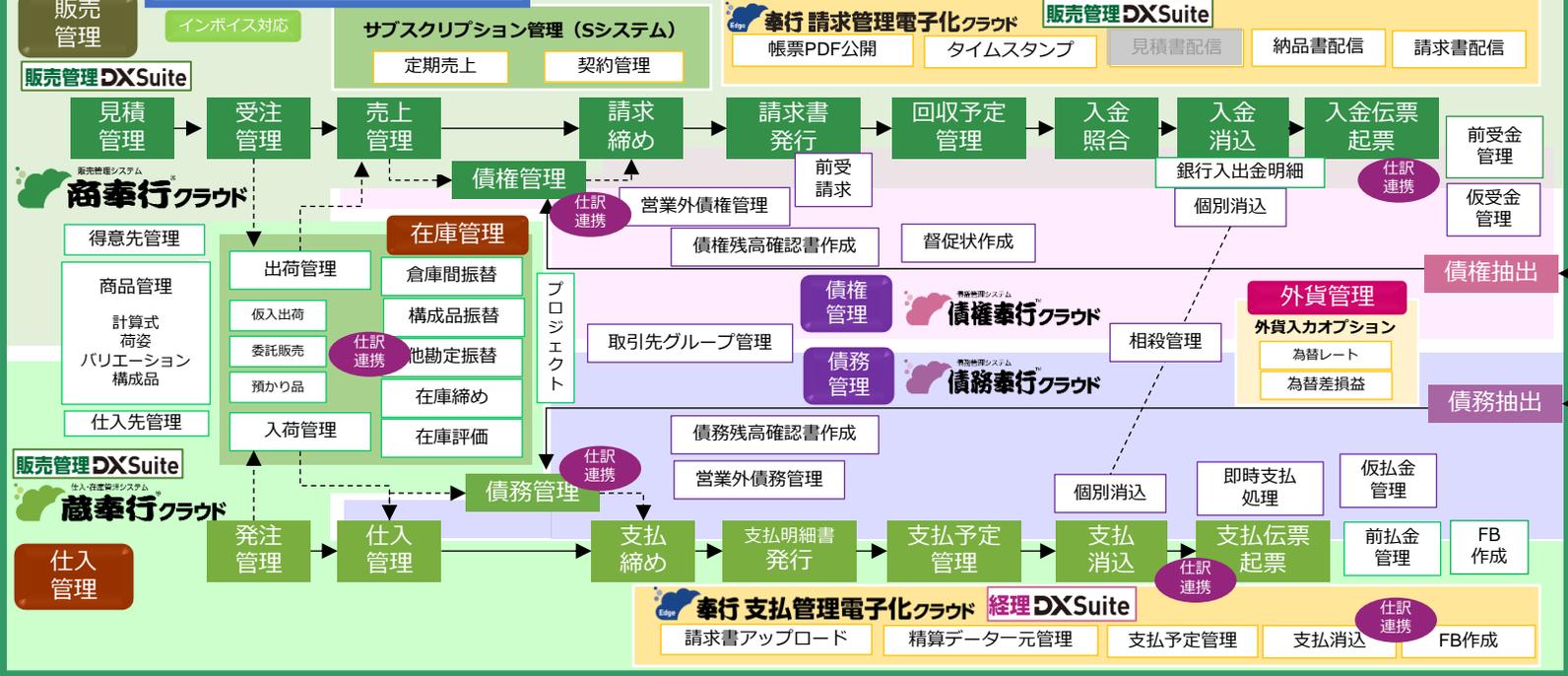
約280席のOBCサポートセンター体制



製品ごとの入電/待ち状況をリアルタイムでセンター内に掲出



奉行シリーズ システム全体鳥瞰図



奉行クラウドなら、すべての人事労務業務がつながり、デジタル化できます



経営・マネジメントのためのデジタル化

【タレントマネジメント】
企業に必要な
タレントマネジメントの
仕組みをデジタル化



人材情報の見える化

人材分析・育成計画の策定

目標の管理と評価

HR Tech
サービス

従業員 従業員のためのデジタル化

【労務管理】
入社から退職までの手続きを
すべてデジタル化

HRDXSuite

奉行 労務管理電子化クラウド

入社	退職
結婚	離婚
産休	育休
家族異動	転勤
高齢雇用継続給付	住所変更
口座変更	電子申請



担当者 総務人事部門のためのデジタル化

【総務・人事・労務】
あらゆる総務・人事・労務業務を
定型化しデジタル化

HRDXSuite

総務・人事・労務業務システム
総務人事奉行クラウド

社員管理	組織管理	人事異動	組織改編	在職証明書等発行
分析レポート	アンケート回収	イベント・スケジュール通知	規程管理	

入社・異動情報

社員情報

【勤怠管理】
打刻・申請から分析・マネジメントまでの
勤怠管理業務をすべてデジタル化

奉行 勤怠管理クラウド

打刻	申請・承認
勤怠・残業集計	休日・休暇管理

【給与】
給与計算から社会保険・年末調整までの
給与業務をすべてデジタル化

給与計算システム
給与奉行クラウド

給与・賞与	社会保険
労働保険	年末調整

【法定調書提出】
支払調書・合計表作成から申告までの
法定調書提出業務をデジタル化

年末調整・法定調書作成システム
法定調書奉行クラウド

受給者管理	支払調書
法定調書合計表	電子申告

マイナンバー情報

マイナンバー情報

社員情報

受検履歴

明細情報

申告情報

【マイナンバー管理】
企業内すべてのマイナンバー業務をデジタル化

HRDXSuite

奉行 マイナンバークラウド

収集	保管
利用	削除

【メンタルヘルスケア】
従業員の休職・離職防止の仕組みをデジタル化

メンタルヘルスケア
クラウド Neo

ストレスチェック	セルフケアの促進
メンタル不調者のケア	組織分析

【給与明細配付】
給与業務にかかわる配付業務をデジタル化

HRDXSuite

奉行 給与明細電子化クラウド

給与明細	賞与明細
源泉徴収票	標準報酬決定通知書

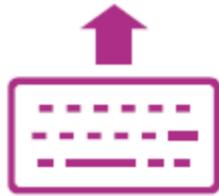
【年末調整】
申告書の配付から給与システム入力までの業務をデジタル化

HRDXSuite

奉行 年末調整申告書クラウド

配付・説明	記入・提出	回収・催促
確認・差戻し	給与システムへの入力	申告書の保管

取引入力・自動起票



- 仕訳伝票入力
- 証憑電子保管
- 帳票入力
- 承認申請
- 領収書入力
- 銀行入出金明細入力
- キャッシュレス明細入力

- 仕訳伝票予約
- 業務連携

帳票作成・分析・管理会計



- 仕訳帳
- 元帳
- 日計表
- 合計残高試算表
- 勘定科目内訳表
- 集計表
- 推移表
- 対比表
- 予算管理
- 資金繰り
- 部門配賦

決算・消費税申告/納税



- 決算報告書
- 消費税申告書
- 消費税計算書
- 消費税管理資料
- 税理士添付書面
- 電子申告・電子納税

適格請求書発行

請求伝票入力 メール配信

内訳書・概況書作成

法人事業概況説明書/勘定科目内訳明細書

伝票の項目追加

賃借摘要/伝票摘要

経理DXSuite

勘定奉行



支払管理

- 支払予定表
- 支払消込
- 即時支払
- 仮払金・前払金
- 債務残高確認表
- FBデータ作成

債務奉行



入金管理

- 回収予定表
- 入金消込
- 即時入金
- 仮受金・前受金
- 債権残高確認表
- 滞留債権年齢表

債権奉行

個別原価管理

プロジェクト 間接費配賦 労働費配賦
棚卸振替 プロジェクト台帳

個別原価管理編

建設原価管理

工事管理 間接費配賦 労働費配賦
工事台帳 経営事項審査

建設業編

固定資産管理

固定資産管理
リース資産管理
減価償却費計算

資産台帳
償却資産税申告書
別表16

固定資産奉行

法人税・地方税申告

法人税・地方税申告書
予定申告 電子申告・電子納税
税効果会計

申告奉行

内訳書・概況書作成

法人事業概況説明書
勘定科目内訳明細書

申告奉行

拡張
オプション

業務

証憑収集

タイムスタンプ
証憑登録 (申請・承認)

証憑収集

文字認識

AI-OCR

奉行
Edge

業務

請求書発行

CSV・PDF受入/オリジナルフォーム

請求伝票入力 メール配信/Web配信

請求管理電子化

請求書受領

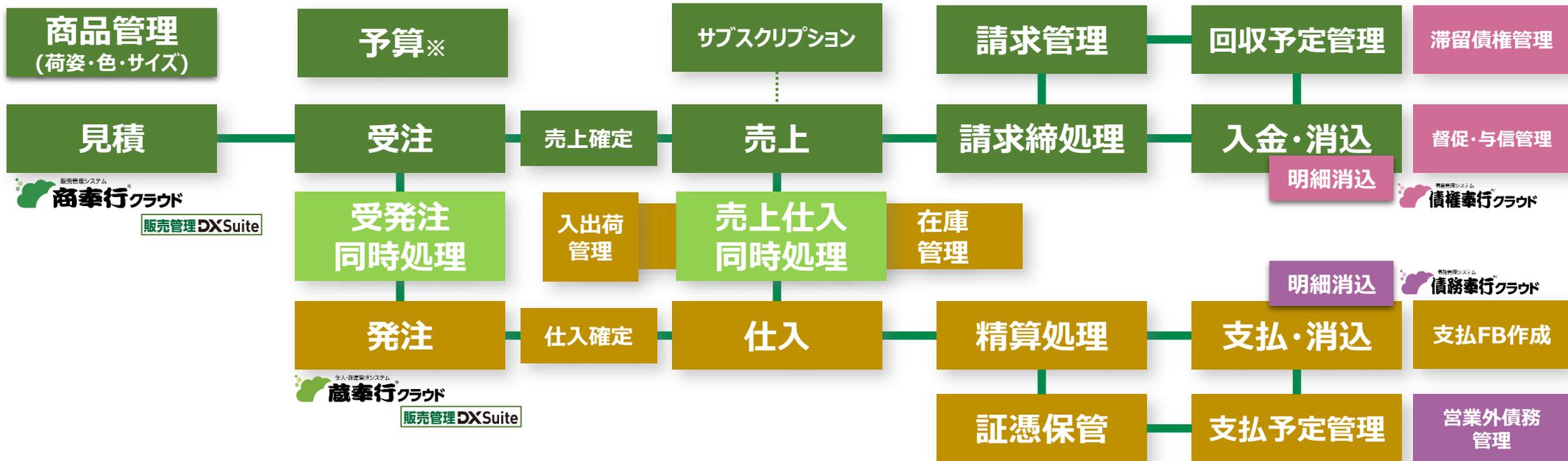
請求書の収集・データ化/支払管理の自動化

支払管理電子化

経理DXSuite

販売管理業務の対応範囲と業務のデジタル化全体像

販売管理・仕入管理・在庫管理



会計システム連携

業務のデジタル化

- 受注データ活用
- 分析・集計・データ活用
- 販売データとAIとの連携
- 請求業務の電子化 (奉行 請求管理電子化クラウド 販売管理 DXSuite)
- 銀行入金データ連携
- 外部システム連携

分散型テレワークでの業務対応 (外出先、出張先、在宅勤務/テレワーク)

※対応予定

「ビジネスプロセスのDX化」に対応可能な高付加価値DXサービスソリューション

奉行クラウド 経理DXSuite[®]

勘定奉行 支払管理電子化

奉行クラウド 販売管理DXSuite[®]

商蔵奉行 請求管理電子化 データ拡張

奉行クラウド HRDXSuite[®]

給与奉行※ 総務人事奉行 給与明細電子化 マイナンバー
 労務管理電子化 年末調整申告書

※給与奉行は選択制

奉行クラウド HR DX Suite

 <p>総務人事・労務管理システム 総務人事奉行クラウド</p>	 <p>Edge 奉行 労務管理電子化 クラウド</p>	 <p>給与計算システム 給与奉行クラウド</p>
<p><標準> ユーザー（管理者）ライセンス 5ユーザー</p>		<p><標準> ユーザーライセンス 5ユーザー</p>
<p><標準> 専門家ライセンス 1ライセンス</p>	<p><標準> 専門家ライセンス 1ライセンス</p>	<p><標準> 専門家ライセンス 1ライセンス</p>
 <p>Edge 奉行 給与明細電子化 クラウド</p>	 <p>Edge 奉行 年末調整申告書 クラウド</p>	 <p>Edge 奉行 マイナンバー クラウド</p>
<p>社員数ライセンス： 20人からお選びいただけます （基本は10人単位）</p>		<p><標準> 電子証明書 2 ID</p>
		<p><標準> 個人支払先 100人</p>

経理・財務会計

経費精算
 楽楽精算 Spendia 経費BANK HRMOS 経費 経費キャッシュレス IntrameriT MAJORFLOW CLOUD NI Collabo 360 JSNAVI New V-ONEクラウド

請求書受取
 BillOne パワワ BtoB 請求書 TOKIUM インボイス

請求書特化型OCR
 RICOH 社外・支払業務特化型OCR 会計連携 Cloud OCR for 請求書

領収書特化型OCR
 uniFLOW online

支払管理
 支払管理システム 支払管理の達人

決算開示支援
 WizLabo Data Driven Disclosure

収納代行
 KCS 自動会計サービス

予算管理・財務分析
 bixid DOMO

サブスクリプション管理
 ヤアツク

借入管理
 COURAGEUX

手形管理
 手形の達人 for 奉行クラウド

債権管理
 V-ONEクラウド

物品管理
 Convi.BASE コンピベース

通勤費管理
 くらくら通勤費

人事異動届出
 e-AMANO

コミュニケーション
 LINE WORKS

勤怠管理
 KING of TIME HRMOS 勤怠 ハーモス 勤労の獅子 ジョブカン ShiftMAX Xronos クラウド勤怠管理システム AKASHI Touch On Time CC-BizMate ADVANCE勤怠クラウド cLouza クラウド型 就業管理サービス OYO 算 タイムレコーダー kincone セコムあんしん勤怠管理サービス LYSITHEA タイムログDX BIZWORK+

安否確認/BCP
 安否確認

給与明細配信
 WEB給

年末調整申告書
 年調AIWA

打刻管理
 カラレコ PIt-21A

入退出管理
 iDors

シフト管理
 SHIFTEE

社会保険帳票
 Charlotte 電子帳票Gov連携ソリューション

顔認証打刻
 office DX 顔認証打刻 for 奉行Edge勤怠管理クラウド powered by D3CO Logitech SenseThunder 顔認証コストデバイス

採用管理
 HRMOS 採用 ハーモス

PCD打刻乖離分析
 MaLionCloud

人材管理 (タレントマネジメント)
 SUZAKU saï*reco CYDAS PEOPLE kaonavi DX 人事評価シートDX HRBrain

顧客管理・CRM
 WARM+

AIチャットボット
 CB4 Chatbot solution

専用伝票・送り状発行
 伝助 送助 伝発 ねんCloud

受注特化型OCR
 ApeosPlus desola Technology by AI inside

データ分析・通知
 旗振~hata free~

Web EDI・EOS
 EcoChange 伝助EOS

EC・Web受注
 MakeShop by GMO 楽楽B2B EC-JES471 BY NETSHOP SUPPORTERS

ネットショップ管理
 速販UX

仕入業務特化型OCR
 RICOH 仕入業務特化型OCR 仕入業務連携 Cloud OCR for 納品書

請求書電子送付
 楽楽明細 BtoB 請求書

入出荷・検品・倉庫管理
 入出荷検品NAVI ハンディ上手

案件管理・SFA
 SalesQuoteAssistant BizMagic



プロジェクト収支管理
 ZAC MAEYES OBPMNeo

POSレジ
 スマレジ POS上手 Tenpo Visor

工事原価管理
 工事原価 NBO ショールズ レッツ原価管理Go2 本原 二の丸EX v2 工事原価管理システム 工事原価Pro for クラウド

その他 業種向け

個別業種対応販売管理
 売上原価Pro for クラウド Aladdin Office 楽楽販売 KAREN-CORE

案件管理・進捗工程管理
 レンタル業務管理

輸出入販売管理
 TRADING R2

生産管理
 rBOM

不動産賃貸業
 賃貸革命10 SKELTON

美容室業務管理
 A'staff Cloud

人事労務

販売管理

業種専用

※ 掲載されている各サービスの商品名称及びロゴは各社の商標または登録商標です。
 ※ 一部、今後連携予定のサービスを含んでいます。
 ※ 2023年4月末現在の情報となります。

専用サイトで連携内容を公開中！ご興味があるシステム連携をご確認ください。

連携詳細はWEBで随時更新中！
今すぐチェック



サステナビリティ

価値創造プロセス

ミッション

業務にイノベーションを お客様に感動を

マテリアリティ

ITによる
イノベーション
の推進

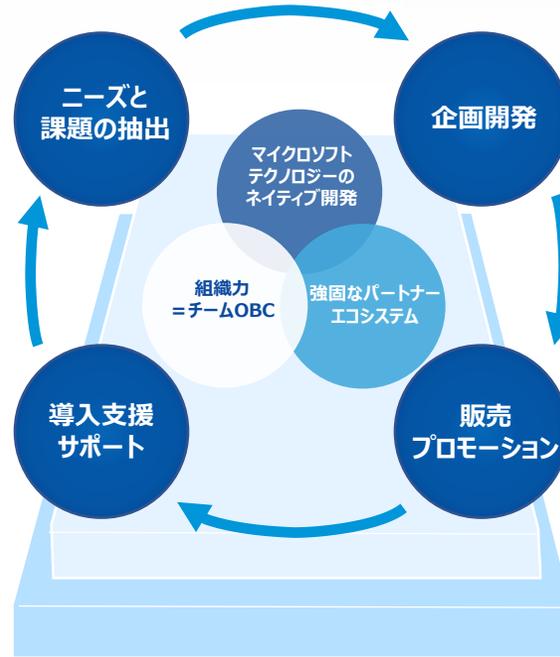
環境に配慮した
事業活動の推進

ダイバーシティ
経営の推進

責任ある
企業活動の実行

経営資本
(インプット)

- 人的資本**
- 最適なソリューションを届けるための高度なIT人材
 - 0から教育する体制
- 知的資本**
- 創業時から積み上げたノウハウ
 - 知的財産 (特許、実用新案権等)
- 社会・関係資本**
- パートナーエコシステム
 - 新しい価値を競争する他社ソリューションとの連携
- 製造資本**
- お客様、パートナーを支える国内のサービス拠点
 - 製品開発の内製化
 - 安定系な製品開発を行うための開発体制
- 財務資本**
- 持続的な価値創出につながる強固な財務基盤



アウトプット

- バックオフィス向け業務サービスによる生産性向上
- 従業員向け業務サービスによる業務のデジタル化
- 導入支援サービスによる導入、運用の支援
- サポートサービスによりお客様の安心安全な運用を支援
- パートナーエコシステムの強化

提供価値
(アウトカム)

- ITによるイノベーションの推進
- 労働人口の減少による人材不足社会に向けた対応
- 持続可能な経済の好循環
- 従業員が働き甲斐のある職場の実現
- 長期的な企業価値の向上
- クリーンな地球環境の実現

社会貢献



ステークホルダー

顧客

株主

ビジネスパートナー

地域社会

環境

4つの重要テーマと14のマテリアリティ

重要テーマ	マテリアリティ	行動指針	取り組み	SDGs
ITによる イノベーションの 推進	品質・お客様満足度の向上	高品質を保ち、常にニーズに対応した製品・サービスを提供し続けます	お客様の要望を製品へ反映することによる利便性の向上、営業・開発メンバーによる充実したサポート体制の構築、製品開発の内製化による高品質なサービスの供給	  
	様々な企業、団体とのパートナーシップ構築による共創	企業の課題解決にパートナーと共に取り組み、共存共栄を目指します	パートナーエコシステムの構築、他企業や諸団体と連携	
	情報セキュリティニーズへの対応	企業が安心してご利用頂けるセキュリティ環境を提供します	マイクロソフトテクノロジーによる世界最高水準のセキュリティの確保 高水準なセキュリティ体制の構築 (SOC2® Type2報告書の取得) 情報セキュリティに関する社内教育	
	労働人口減少の解決に貢献する製品・サービスの提供	生産性の向上に寄与する製品・サービスの提供を目指します	業務システム高度化による業務の自動化、クラウドによるリモートアクセス推進による働き方の多様化に対応、APIによる様々な業務サービスとの連携	
ダイバーシティ 経営の推進	従業員の健康と安全の確保	従業員が健康で安全に働ける環境をつくります	胃カメラ・インフルエンザ予防接種費用や婦人科オプション検査費用の会社負担、産業医による健康講話の実施、防災グッズの配布、新型コロナウイルス対策のための在宅勤務・時差出勤ストレスチェックを活用したメンタルヘルスケア	   
	ワークライフバランスの推進	従業員が仕事と家庭の両立を実現し、活躍しながら長く働き続ける環境をつくります	長時間労働の抑制、育休取得の推進、時短勤務期間を小学校6年生まで延長	
	多様な人材の活用を推進	オープンでチャンスがある職場づくりを目指します	男女平等の採用・人事制度、障害者雇用、障がい者に対する定着支援	
	教育・研修活動の充実	従業員の成長をサポートします	スキル研修やマインド研修の定期的な実施、従業員自らが率先して学べる環境の提供	
環境に配慮した事業活動の 推進	業務のデジタル化による資源削減の推進	業務をデジタル化することによる紙の削減を目指します	業務をデジタル化できるクラウドサービスの提供、社内業務のデジタル化を推進	 
	CO2排出量の低減	オンラインやクラウドサービスの活用により、環境負荷の低減に努めます	リモートデモやリモートサポート、オンラインカンファレンスによるデジタルマーケティング等により移動を低減、クラウドサービスの活用によるサーバー台数の削減	
責任ある 企業活動の 実行	ステークホルダー（顧客、株主、ビジネスパートナー、地域社会、環境）との積極的な対話	ステークホルダーの声を積極的に取り入れるオープン経営に努めます	ホームページ等を通じた適切な情報開示、お客様窓口の設置、社内SNS・各種ツールを利用した情報提供、社内イベントの開催	
	BCPの推進	災害時に損害を最小限に留めつつ、事業の継続を維持できる体制を構築します	災害対策委員会の設置、災害時対応マニュアルの策定 安否確認サービスの導入、防災訓練の定期的な実施	
	法令遵守	役員・従業員一人ひとりが、法令や社内ルールなどを遵守し高い倫理観に基づいた企業活動を行います	コンプライアンスマニュアル・手引きの作成と徹底（反社会的勢力、下請法、腐敗防止等）、個人情報保護方針（プライバシーポリシー）の遵守、ハラスメント防止ポリシーの設定、コンプライアンスに関する社内教育	
	企業経営のチェック体制の構築	経営における透明性の向上と経営目標の達成に向けた経営監視機能を強化します	内部統制委員会の設置、JSOX（内部監査）の実施、内部通報制度の設置、財務報告の信頼性や情報セキュリティの管理体制の強化（SOC1® Type2、SOC2® Type2報告書の取得）、コーポレートガバナンスコードへの対応	

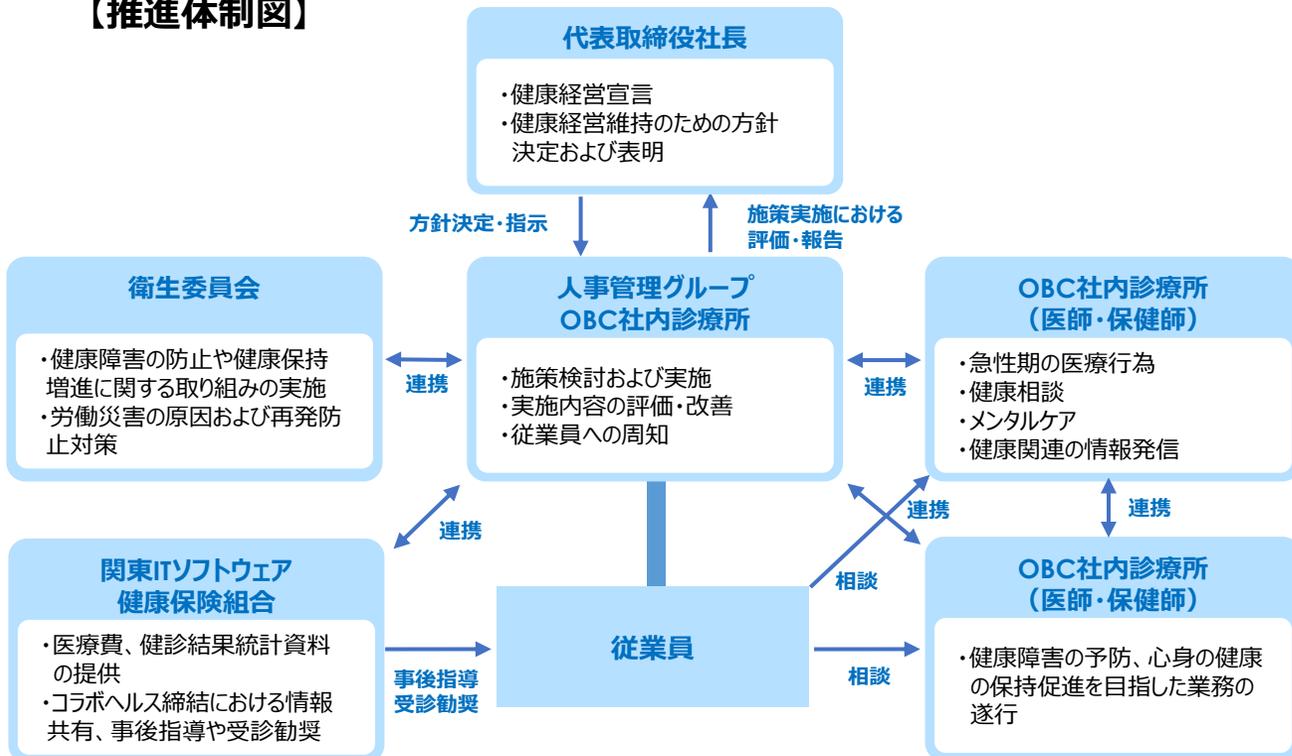
		2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
環境	Scope1 排出量 (t-CO2)	—	—	7.21	8.32	9.24
	Scope2 排出量 (t-CO2)	—	—	881.67	905.74	900.13
社会	社員数 (名)	842	898	908	918	941
	女性社員比率 (%)	35	35	36	36	38
	採用者数 (名)	77	77	65	68	90
	平均勤続年数 (年)	10.1	10.1	11.4	11.8	11.8
	離職率 (%)	3.1	2.2	6.4	6.1	6.3
	育児休業取得者数 (名)	45	39	42	58	43
	男性従業員の育児休業取得率 (%)	—	—	—	97	89
	育児短時間勤務制度利用者数 (名)	65	65	78	69	78
	年次有給休暇取得率 (%)	64	53	65	75	81
	一人あたり月平均残業時間 (時間)	22.4	19.1	18.5	20.4	24.0
ガバナンス	取締役合計数 (名)	10	10	9	9	9
	社外取締役数 (名)	5	5	5	5	5
	取締役会開催数 (回)	10	3	7	7	9
	社外取締役の取締役会平均出席率 (%)	86	93	91	97	84
	社外監査役の取締役会平均出席率 (%)	83	100	100	100	100
	コンプライアンス研修(eラーニング)受講率 (%)	100	100	100	100	100
	情報セキュリティ教育受講者率 (%)	100	100	100	100	100

健康経営宣言

オービックビジネスコンサルタントは、社員が心身ともに健康で、能力を最大限に発揮することが、企業の発展に繋がると考えます。

この考えのもと、時代の変化に応じた健康増進施策の検討・推進を会社、社員、その家族が一体となって取り組み、オープンでフェアな働きやすい環境づくりを目指します。

【推進体制図】



健康経営優良法人2024に認定

健康経営宣言のもと、健康講話の実施をはじめ、健康診断オプション費用会社負担、インフルエンザ予防接種の社内実施、健康だよりの配信など、社員の皆さまの健康をサポートする取り組みを地道に行っていました。その取り組みが評価され、経済産業省と日本健康会議により「健康経営優良法人2024」に認定されました。



OBCでは社員の働きやすい環境づくり・働き方改革を推進しています

産前産後休暇

時間短縮勤務制度

介護休業

育児休暇

産前産後休暇取得率 **100%**

くるみん認定取得！

多くの産休・育休社員も活躍中

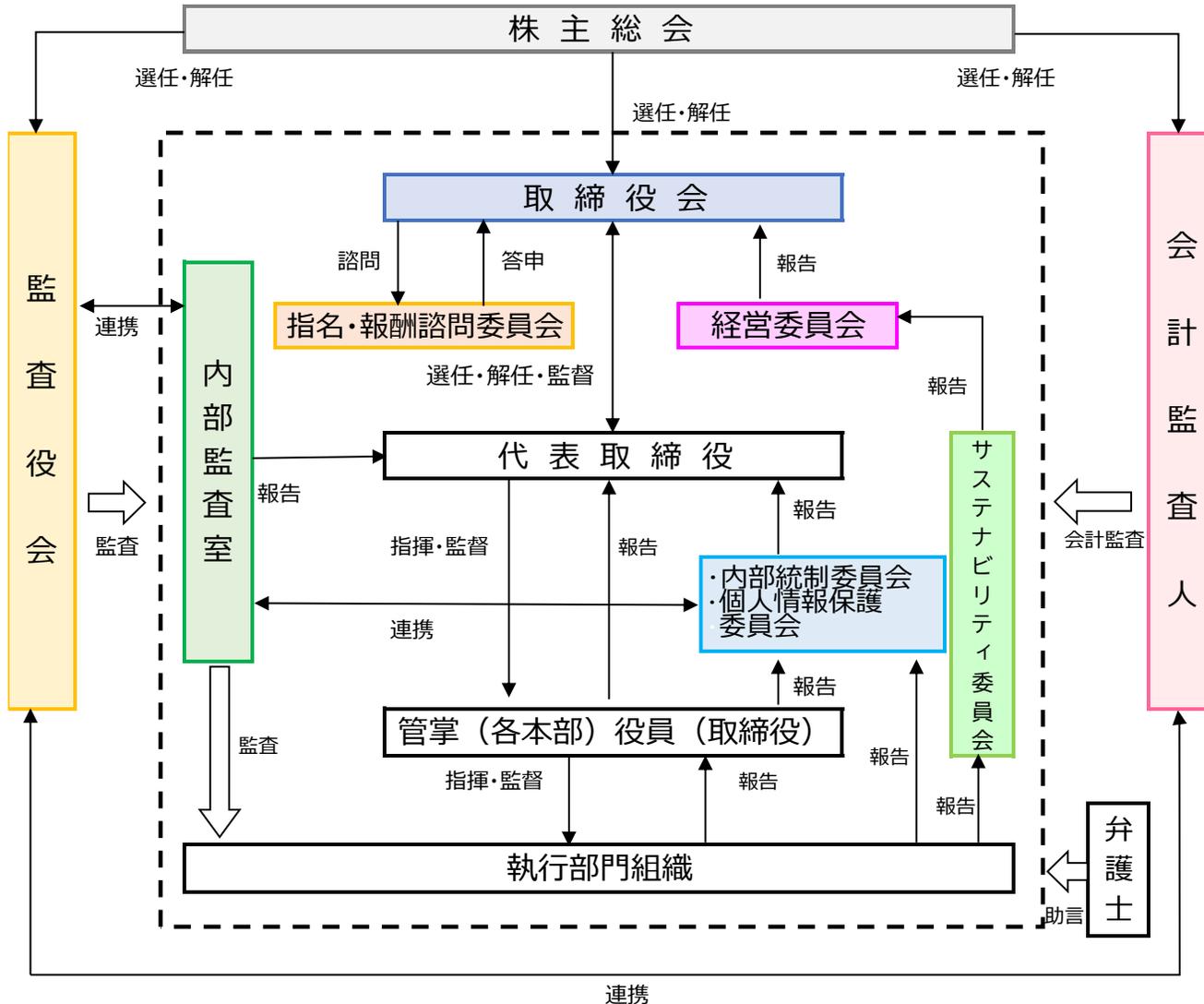
ノー残業DAY制度

残業時間削減推進

定時退社推進制度 **週1日以上**



(企業統治の体制)



株主総会

会社の最高意思決定機関であり、会社法で規定する事項及び定款で定めた事項について決議する。

取締役会

当社の企業価値を高めるための業務執行の決定機関であり、経営監督機関として業務執行機能の監督を行う。

指名・報酬諮問委員会

取締役会からの諮問に応じて、指名及び報酬等に係る事項について審議し、取締役会への答申を行う。

経営委員会

経営に関する基本方針、戦略を討議し、決定するとともに、経営執行に関する重要事項を決定する。

サステナビリティ委員会

サステナビリティに係る取り組みの議論を行う。

監査役会

監査機能を担い、会社の経営方針に則り、監査役監査基準を指針とし、会社経営の目標達成、経営管理の改善・向上に資する監査を実施する。

内部統制委員会・個人情報保護委員会

組織横断的対応かつ継続的な監視を目的として、監査結果を取締役会及び監査役会へ報告する。

内部監査室

社内の会計監査、業務監査、業務の改善提案を行うとともに、監査結果を監査役会へ報告を行う。

会計監査人

監査役及び内部監査人は、会計監査人の助言や提言をもとに内部統制の状況等を把握し、監査役会へ報告を行う。

